

## 平成30年度CHISA情報通信人材研修 開催コース一覧

※会場【①高ボリ:高度ボリテクセンター(海浜幕張)、②船橋:船橋情報ビジネス専門学校、③市川:TPSキャリアカレッジ市川校、④千葉:ハロー会議室千葉駅前】

No.	コース番号	コース名	日数	会場	日程	時間	定員	受講料
1	T001	オブジェクト指向プログラミング(Java初級)	3	船橋	9月18日(火)～20日(木)	10:00～17:40	20	会員:55,000、一般:85,000
2	T002	Javaアプリケーションプログラミング(Java中級)	3	船橋	10月9日(火)～11日(木)	10:00～17:40	20	会員:55,000、一般:85,000
3	T003	Webアプリケーションプログラミング(Java中級)	3	船橋	10月30日(火)～11月1日(木)	10:00～17:40	20	会員:55,000、一般:85,000
4	T004	JavaScript入門講座	2	千葉	9月19日(水)～20日(木)	10:00～18:00	20	会員:40,000、一般:60,000
5	T005	Javaオブジェクト指向入門講座	2	千葉	8月21日(火)～22日(水)	10:00～18:00	20	会員:40,000、一般:60,000
6	T006	ASP.NET MVC	3	高ボリ	9月19日(水)～21日(金)	10:00～18:00	15	会員:55,000、一般:85,000
7	T007	C#プログラミング基礎研修	3	高ボリ	8月22日(水)～24日(金)	10:00～18:00	15	会員:55,000、一般:85,000
8	T008	iOSアプリケーション開発(Swift)研修	3	高ボリ	10月10日(水)～12日(金)	10:00～18:00	15	会員:65,000、一般:95,000
9	T009	Excel VBA 初級	2	市川	7月17日(火)～18日(水)	10:00～17:00	28	会員:40,000、一般:60,000
10	T010	Excel VBA 中級	2	市川	8月9日(木)～10日(金)	10:00～17:00	28	会員:40,000、一般:60,000
11	T011	Linux サーバ仮想化及び高信頼システム構築研修	2	市川	9月13日(木)～14日(金)	10:00～18:00	20	会員:40,000、一般:60,000
12	T012	Linuxサーバー構築研修	2	市川	7月12日(木)～13日(金)	10:00～18:00	20	会員:40,000、一般:60,000
13	T013	Linuxシステム管理研修	2	市川	8月21日(火)～22日(水)	10:00～18:00	20	会員:40,000、一般:60,000
14	T014	Wireshark基礎研修	2	市川	7月19日(木)～20日(金)	10:00～18:00	20	会員:40,000、一般:60,000
15	T015	実践ネットワーク構築研修	2	市川	12月11日(火)～12日(水)	10:00～17:00	20	会員:40,000、一般:60,000
16	T016	ネットワーク基礎と応用テクニック	2	高ボリ	12月10日(月)～11日(火)	10:00～18:00	15	会員:40,000、一般:60,000
17	T017	SQL基礎と実践テクニック	3	高ボリ	7月4日(水)～6日(金)	10:00～18:00	15	会員:55,000、一般:85,000
18	T018	データベース設計とパフォーマンスチューニング	3	高ボリ	12月12日(水)～14日(金)	10:00～18:00	15	会員:55,000、一般:85,000
19	T019	Amazon Web Service基礎研修	2	高ボリ	9月27日(木)～28日(金)	10:00～18:00	15	会員:40,000、一般:60,000
20	T020	Pythonプログラミング基礎研修	2	高ボリ	11月21日(水)～22日(木)	10:00～18:00	15	会員:40,000、一般:60,000
21	T021	IoT&AI時代を勝ち抜くPython入門	3	船橋	9月25日(火)～27日(木)	10:00～18:00	15	会員:55,000、一般:85,000
22	T022	ビッグデータ統計分析(基礎)	3	船橋	8月28日(火)～30日(木)	10:00～18:00	15	会員:55,000、一般:85,000
23	T023	IoT・AI基礎研修	2	市川	7月26日(木)～27日(金)	10:00～18:00	20	会員:60,000、一般:90,000
24	T024	Pythonで学ぶAI入門講座	2	千葉	11月7日(水)～8日(木)	10:00～18:00	20	会員:40,000、一般:60,000
25	T025	最新技術動向入門講座(IoT/クラウド/ビッグデータ/AI)	1	千葉	10月24日(水)	10:00～17:00	30	会員:25,000、一般:35,000
26	T026	テスト技法入門講座	1	千葉	8月23日(木)	10:00～18:00	20	会員:25,000、一般:35,000
27	T027	ソフトウェアテスト手法初級	2	船橋	10月25日(木)～26日(金)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
28	T028	ソフトウェアテスト手法中級	3	船橋	11月27日(火)～29日(木)	10:00～17:30	20	会員:55,000、一般:85,000
29	T029	ネットワークセキュリティ	3	船橋	12月19日(水)～21日(金)	10:00～17:40	20	会員:55,000、一般:85,000
30	M001	プロジェクトマネジメント(QCD)入門	3	船橋	11月7日(水)～9日(金)	10:00～17:40	20	会員:55,000、一般:85,000
31	M002	プロジェクト管理の勘所	1	船橋	10月19日(金)	10:00～17:30	20	会員:25,000、一般:35,000
32	M003	プロジェクト計画入門	1	船橋	9月12日(水)	10:00～17:30	20	会員:25,000、一般:35,000
33	M004	情報セキュリティマネジメント入門	2	船橋	11月15日(木)～16日(金)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
34	A001	システム品質向上のための要件定義入門	2	船橋	12月7日(金)～8日(土)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
35	A002	システム運用品質向上のための運用業務改善入門	2	船橋	11月7日(水)、21日(水)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
36	A003	業務知識の基礎と改革のポイント(会計編)	2	船橋	11月13日(火)～14日(水)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
37	A004	業務知識の基礎と改革のポイント(販売・購買・在庫編)	2	船橋	12月12日(水)～13日(木)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
38	A005	ITコンサルティング営業の基礎	2	船橋	10月16日(火)～17日(水)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
39	A006	リーダー(幹部)のための営業戦略の立案と実践の考え方	1	船橋	7月27日(金)	10:00～17:30	20	会員:25,000、一般:35,000
40	A007	SEのためのソリューション営業活動の実践	1	船橋	7月12日(木)	10:00～17:30	20	会員:25,000、一般:35,000
41	H001	ドキュメント品質向上 SEのためのロジカルシンキング入門	1	船橋	7月25日(水)	10:00～17:30	20	会員:25,000、一般:35,000
42	H002	改善・提案型 SEのためのロジカルライティング入門	1	船橋	10月24日(水)	10:00～17:30	20	会員:25,000、一般:35,000
43	H003	聴き手の心を動かす技術 “プレゼンテーション”～ジョブに学びながら～	1	船橋	9月14日(金)	10:00～17:30	20	会員:25,000、一般:35,000
44	H004	コンサル型ファシリテーション	2	船橋	12月3日(月)～4日(火)	10:00～17:30	20	会員:40,000、一般:60,000
45	H005	管理者・マネージャー、リーダーのための ストレスマネジメント(セルフ・ライン)	2	船橋	9月7日(金)～8日(土)	10:00～17:00	20	会員:40,000、一般:60,000
46	H006	ITエンジニアのためのストレスセルフマネジメントの基礎	1	船橋	7月11日(水)	10:00～17:00	20	会員:25,000、一般:35,000

# 平成30年度CHISA情報通信人材研修 開催スケジュール表

■研修会場：高度ポリテクセンター(高ポリ)、船橋情報ビジネス専門学校(船橋)、TPSキャリアカレッジ市川校(市川)、ハロー会議室千葉駅前(千葉)

コース番号	研修コース名	日数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	会場	日程
T001	オブジェクト指向プログラミング(Java初級)	3			18～20				船橋	9月18日(火)～20日(木)
T002	Javaアプリケーションプログラミング(Java中級)	3				9～11			船橋	10月9日(火)～11日(木)
T003	Webアプリケーションプログラミング(Java中級)	3				30～31	1		船橋	10月30日(火)～11月1日(木)
T004	JavaScript入門講座	2			19～20				千葉	9月19日(水)～20日(木)
T005	Javaオブジェクト指向入門講座	2		21～22					千葉	8月21日(火)～22日(水)
T006	ASP.NET MVC	3			19～21				高ポリ	9月19日(水)～21日(金)
T007	C#プログラミング基礎研修	3		22～24					高ポリ	8月22日(水)～24日(金)
T008	iOSアプリケーション開発(Swift)研修	3				10～12			高ポリ	10月10日(水)～12日(金)
T009	Excel VBA 初級	2	17～18						市川	7月17日(火)～18日(水)
T010	Excel VBA 中級	2		9～10					市川	8月9日(木)～10日(金)
T011	Linux サーバ仮想化及び 高信頼システム構築研修	2			13～14				市川	9月13日(木)～14日(金)
T012	Linuxサーバー構築研修	2	12～13						市川	7月12日(木)～13日(金)
T013	Linuxシステム管理研修	2		21～22					市川	8月21日(火)～22日(水)
T014	Wireshark基礎研修	2	19～20						市川	7月19日(木)～20日(金)
T015	実践ネットワーク構築研修	2						11～12	市川	12月11日(火)～12日(水)
T016	ネットワーク基礎と応用テクニック	2						10～11	高ポリ	12月10日(月)～11日(火)
T017	SQL基礎と実践テクニック	3	4～6						高ポリ	7月4日(水)～6日(金)
T018	データベース設計と パフォーマンスチューニング	3						12～14	高ポリ	12月12日(水)～14日(金)
T019	Amazon Web Service基礎研修	2			27～28				高ポリ	9月27日(木)～28日(金)
T020	Pythonプログラミング基礎研修	2					21～22		高ポリ	11月21日(水)～22日(木)
T021	IoT&AI時代を勝ち抜くPython入門	3			25～27				船橋	9月25日(火)～27日(木)
T022	ビッグデータ統計分析(基礎)	3		28～30					船橋	8月28日(火)～30日(木)
T023	IoT・AI基礎研修	2	26～27						市川	7月26日(木)～27日(金)
T024	Pythonで学ぶAI入門講座	2					7～8		千葉	11月7日(水)～8日(木)
T025	最新技術動向入門講座 (IoT/クラウド/ビッグデータ/AI)	1				24			千葉	10月24日(水)
T026	テスト技法入門講座	1		23					千葉	8月23日(木)
T027	ソフトウェアテスト手法初級	2				25～26			船橋	10月25日(木)～26日(金)
T028	ソフトウェアテスト手法中級	3					27～29		船橋	11月27日(火)～29日(木)
T029	ネットワークセキュリティ	3						19～21	船橋	12月19日(水)～21日(金)
M001	プロジェクトマネジメント(QCD)入門	3					7～9		船橋	11月7日(水)～9日(金)
M002	プロジェクト管理の勘所	1				19			船橋	10月19日(金)
M003	プロジェクト計画入門	1			12				船橋	9月12日(水)
M004	情報セキュリティマネジメント入門	2					15～16		船橋	11月15日(木)～16日(金)
A001	システム品質向上のための 要件定義入門	2						7～8	船橋	12月7日(金)～8日(土)
A002	システム運用品質向上のための 運用業務改善入門	2					7、21		船橋	11月7日(水)、21日(水)
A003	業務知識の基礎と改革のポイント (会計編)	2					13～14		船橋	11月13日(火)～14日(水)
A004	業務知識の基礎と改革のポイント (販売・購買・在庫編)	2						12～13	船橋	12月12日(水)～13日(木)
A005	ITコンサルティング営業の基礎	2				16～17			船橋	10月16日(火)～17日(水)
A006	リーダー(幹部)のための 営業戦略の立案と実践の考え方	1	27						船橋	7月27日(金)
A007	SEのためのソリューション営業活動の実践	1	12						船橋	7月12日(木)
H001	ドキュメント品質向上 SEのための ロジカルシンキング入門	1	25						船橋	7月25日(水)
H002	改善・提案型 SEのための ロジカルライティング入門	1				24			船橋	10月24日(水)
H003	聴き手の心を動かす技術 “プレゼンテーション”～ジョブスに学びながら～	1			14				船橋	9月14日(金)
H004	コンサル型ファシリテーション	2						3～4	船橋	12月3日(月)～4日(火)
H005	管理者・マネージャー、リーダーのための ストレスマネジメント(セルフライン)	2			7～8				船橋	9月7日(金)～8日(土)
H006	ITエンジニアのための ストレスセルフマネジメントの基礎	1	11						船橋	7月11日(水)

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 1	
(2)	コース名称	オブジェクト指向プログラミング (Java 初級編)	
(3)	受講料	会員 : 55,000 円、一般 : 85,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	Java 言語の制御文法を復習しながらオブジェクト指向の概念、基本仕様 (クラス、継承、インターフェース) を修得します。また、クラスの作成と利用からインターフェースの実装、オブジェクト指向の特徴を活かしたプログラミングを目指します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	Java 言語の制御文法の知識をお持ちの方で、これから Java 言語でプログラミングを始められる方	
(6)	日 程 (日 数)	平成 30 年 9 月 18 日 (火) ~ 9 月 20 日 (木)	3 日間
(7)	時 間 (時間数)	10 : 00 ~ 17 : 40	20 時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校 3 号館	
(9)	定 員	20 名 (最小催行人員 8 名)	
(10)	講 師	氏 名	徳永 雅彦
		所 属	株式会社ナレッジシェア 代表取締役
		略 歴	IT 系研究開発会社にて、人工知能研究、製造業・サービス業システム開発、検索エンジン製品開発に従事。独立後、IT 導入・開発支援を行うと共に IT 人材育成講師としても活動の場を広げている。 技術士 (情報工学)、情報処理学会会員
(11)	内 容	第 1 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Java プログラムの開発環境と設定</li> <li>2. Java プログラムの作成手順</li> <li>3. Java の基本構文</li> <li>4. 変数とデータ型</li> <li>5. 計算するプログラム</li> <li>6. 分岐処理</li> <li>7. 繰返し処理</li> </ol>
		第 2 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 配列</li> <li>2. メソッド</li> <li>3. クラスとオブジェクト</li> <li>4. 継承</li> <li>5. インターフェース</li> </ol>
		第 3 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポリモーフィズム</li> <li>2. カプセル化</li> <li>3. コレクションフレームワーク</li> <li>4. 例外</li> </ol>
(12)	その他 (使用機材等)	P C (一人一台)、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 2	
(2)	コース名称	Java アプリケーションプログラミング (Java 中級)	
(3)	受講料	会員 : 55,000 円、一般 : 85,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スレッドの概念を理解できる</li> <li>・ 入出力ストリームの概念を理解できる</li> <li>・ Swing を活かしたイベント管理でプログラミングができる</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	Java 言語の制御文法およびオブジェクト指向の文法知識をお持ちの方、または本研修コースの「(T-01) Java プログラミング (オブジェクト指向編)」を受講された方で、これから Java 言語でアプリケーションプログラミングを始められる方	
(6)	日 程 (日 数)	平成 30 年 10 月 9 日(火)~10 月 11 日(木)	3 日間
(7)	時 間 (時間数)	10 : 00~17 : 40	20 時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校 3 号館	
(9)	定 員	20 名 (最小催行人員 8 名)	
(10)	講 師	氏 名	徳永 雅彦
		所 属	株式会社ナレッジシェア 代表取締役
		略 歴	IT 系研究開発会社にて、人工知能研究、製造業・サービス業システム開発、検索エンジン製品開発に従事。独立後、IT 導入・開発支援を行うと共に IT 人材育成講師としても活動の場を広げている。 技術士 (情報工学)、情報処理学会会員
(11)	内 容	第 1 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マルチスレッド <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スレッドの概要</li> <li>・ スレッドの作成</li> <li>・ 同期</li> <li>・ デッドロック</li> </ul> </li> <li>2. Java クラスライブラリ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Date、Calendar</li> <li>・ ジェネリクス</li> <li>・ StringTokenizer</li> </ul> </li> </ol>
		第 2 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入出力ストリーム <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テキストファイルの入出力</li> <li>・ バイナリファイルの入出力</li> <li>・ ランダムアクセスファイル</li> </ul> </li> </ol>
		第 3 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. JavaFX <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JavaFX の概要</li> <li>・ JavaFX の構成</li> <li>・ レイアウト</li> </ul> </li> <li>2. イベント処理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの設定</li> <li>・ フレーム移動とダイアログボックス</li> </ul> </li> </ol>
(12)	その他 (使用機材等)	P C (一人一台)、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 3	
(2)	コース名称	Web アプリケーションプログラミング (Java 中級)	
(3)	受講料	会員 : 55,000 円、一般 : 85,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	オブジェクト指向の基本概念と基本仕様を復習確認していきます。 Java サーブレット、JSP の基礎知識を修得します。またセッション トラッキングの仕組みについて学習し、Web アプリケーションプロ グラミングができること目指します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	Java 言語の制御文法の知識をお持ちの方(本研修コース Java プロ グラミングオブジェクト指向編 程度)で、これから Java 言語で Web アプリケーションプログラミングを始められる方	
(6)	日 程	平成 30 年 10 月 30 日(火)～11 月 1 日(木)	3 日間
(7)	時 間	10 : 00～17 : 40	20 時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校 3 号館	
(9)	定 員	20 名 (最小催行人員 8 名)	
(10)	講 師	氏 名	徳永 雅彦
		所 属	株式会社ナレッジシェア 代表取締役
		略 歴	IT 系研究開発会社にて、人工知能研究、製造業・サービス業システ ム開発、検索エンジン製品開発に従事。独立後、IT 導入・開発支援 を行うと共に IT 人材育成講師としても活動の場を広げている。 技術士 (情報工学)、情報処理学会 会員
(11)	内 容	第 1 日目	1. クラスとオブジェクト 2. 継承 3. インターフェース 4. ポリモーフィズム 5. 例外
		第 2 日目	1. Web アプリケーションとは 2. Web アプリケーション開発 3. Web アプリケーションセキュリティ 4. Java サーブレット 5. JSP (Java Server Pages)
		第 3 日目	1. セッショントラッキング 2. JavaBeans 3. MVC アーキテクチャ 4. Web アプリ演習
(12)	その他 (使用機材等)	P C (一人一台)、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 4	
(2)	コース名称	JavaScript 入門講座	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	JavaScript の概要、基礎講座から各種オブジェクト操作など JavaScript を使用した開発の基礎知識を習得します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	何らかのプログラム経験をお持ちの方 HTML/CSS の基礎知識をお持ちの方 JavaScript を学びたい方 jQuery を学びたい方	
(6)	日 程	平成 30 年 9 月 19 日(水)～9 月 20 日(木)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18:00	14 時間
(8)	会 場	ハロー会議室千葉駅前 RoomD 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 1-1-1 千葉駅前ビル 4 階	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 5 名）	
(10)	講 師	氏 名	植木 学
		所 属	株式会社システムシェアード
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2009 年よりシステムシェアード所属。東京 IT スクール専任講師。
(11)	内 容	第 1 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JavaScript の概要</li> <li>・ JavaScript の組み込み方</li> <li>・ 開発に用いるツール</li> <li>・ JavaScript の変数、データ型</li> <li>・ 式と演算子</li> <li>・ 配列</li> <li>・ 関数</li> <li>・ オブジェクトの定義</li> </ul>
		第 2 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件分岐</li> <li>・ 反復処理</li> <li>・ ユーザー定義関数の利用</li> <li>・ イベントハンドラ</li> <li>・ ビルトインオブジェクト</li> <li>・ Window オブジェクト</li> </ul>
(12)	その他（使用機材等）	P C（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 5	
(2)	コース名称	Java オブジェクト指向入門講座	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	Java 言語によるアプリケーション構築の基礎知識を習得する。 カプセル化・継承・ポリモーフィズムに代表されるオブジェクト指向の基本概念ならびにメリットを理解する。	
(5)	前提知識 または受講対象者	Java 言語をこれから学びたい方 オブジェクト指向を学びたい方 オープン系へのスキルチェンジをお考えの方	
(6)	日 程	平成 30 年 8 月 21 日(火)～8 月 22 日(水)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18:00	14 時間
(8)	会 場	ハロー会議室千葉駅前 RoomD 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 1-1-1 千葉駅前ビル 4 階	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 5 名）	
(10)	講 師	氏 名	植木 学
		所 属	株式会社システムシェアード
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2009 年よりシステムシェアード所属。東京 IT スクール専任講師。
(11)	内 容	第 1 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オブジェクトとは</li> <li>・オブジェクト・モデリングとは</li> <li>・モデルとは</li> <li>・なぜオブジェクトを扱うのか</li> <li>・クラスとインスタンス</li> <li>・フィールドとメソッド</li> <li>・カプセル化</li> </ul>
		第 2 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパークラスとサブクラス</li> <li>・継承</li> <li>・オーバーライド</li> <li>・is-a</li> <li>・インターフェース</li> <li>・オブジェクト指向の 3 つの重要概念</li> <li>・Java のオブジェクト指向支援機能</li> <li>・ケーススタディ</li> </ul>
(12)	その他（使用機材等）	P C（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 6	
(2)	コース名称	ASP.NET MVC	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	Microsoftが開発・提供しているMVCパターンをベースとしたアプリケーションを開発するためのASP.NETのWebアプリケーションフレームワークであるASP.NET MVCの概念と基本的な利用法を習得します。 (1) ASP.NET MVCのアーキテクチャ構成の理解 (2) Razorの理解 (3) LINQ構文の理解 (4) 簡単なCRUDアプリケーションの作成	
(5)	前提知識 または受講対象者	C#もしくは.NET開発経験がある方	
(6)	日程	平成30年9月19日(水)～9月21日(金)	3日間
(7)	時間	10:00～18:00	21時間
(8)	会場	高度ポリテクセンター	
(9)	定員	15名	
(10)	講師	氏名	深澤 大志
		所属	株式会社フルネス
		略歴	大学工学部卒業後、複数のIT企業にてハードウェア法人営業、SES営業、ヘルプデスク、システムエンジニアとして約15年経験。 IT業界にて様々な職種を経験したのち、現在は株式会社フルネスにてIT教育およびシステム開発に従事。 特にC#.Net、VB.Netについての研修は年間多く登壇。
(11)	内容	第1日目	1. ASP.NET MVC .NET、ASP、ASP.NET、ASP.NET MVC 2. ASP.NETの基本構成 コントローラー、ビュー、モデル 3. ビュー ビューの定義、Razor、レイアウト
		第2日目	4. コントローラー コントローラーの定義、ビューとの連携、セッション管理 5. モデル モデルの定義、DBコンテキストの定義、接続先の設定、 データ操作、リレーションシップ、テーブル定義のカスタマイズ、 トランザクション、同時実行制御 6. ビューヘルパー ビューヘルパーの概要、@Html、@model、ビューヘルパーの定義
		第3日目	7. バリデーション バリデーションの概要、バリデーションの定義、CSRF対策、 クライアント側での検証、独自のバリデーション、XSS対策 8. フィルター フィルターの概要、フィルターの定義、フィルターの適用、 エラーページの設定 9. WebAPI WebAPIの概要、WebAPIの設定、WebAPIの定義
(12)	その他(使用機材等)	PC1人1台	



情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 7	
(2)	コース名称	C#プログラミング基礎研修	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p>C#言語の基本的な文法や言語仕様を学習します。 また、基本的なプログラムの書き方を身に付けていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C#言語の特徴や長所、短所を理解します。</li> <li>・C#言語の基本的な言語仕様を身に付けます。</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからC#言語の学習を始める方。</li> </ul>	
(6)	日 程	平成30年8月22日(水)～8月24日(金)	3日間
(7)	時 間	10:00～18:00	21時間
(8)	会 場	高度ポリテクセンター	
(9)	定 員	15名	
(10)	講 師	氏 名	深澤 大志
		所 属	株式会社フルネス
		略 歴	<p>大学工学部卒業後、複数のIT企業にてハードウェア法人営業、SES営業、ヘルプデスク、システムエンジニアとして約15年経験。 IT業界にて様々な職種を経験したのち、現在は株式会社フルネスにてIT教育およびシステム開発に従事。 特にC#.Net、VB.Netについての研修は年間多く登壇。</p>
(11)	内 容	第1日目	<p>1. C#の基礎 .NET Framework、C#の特徴とプログラムの構造</p> <p>2. 変数とデータ型 変数の有効範囲、型変換、値型と参照型</p> <p>3. 演算子 演算子と優先順位、参照型の代入と比較</p>
		第2日目	<p>4. 制御文 選択と繰り返し、クラスとアクセス修飾子、メソッド、インスタンス</p> <p>5. オブジェクト指向 カプセル化、継承、多態性、インターフェイス、例外処理</p>
		第3日目	<p>5. オブジェクト指向 カプセル化、継承、多態性、インターフェイス、例外処理</p> <p>6. 配列と構造体 配列、構造体</p> <p>7. 高度な機能 デリゲート、イベント、名前空間、拡張メソッド、クラスライブラリの活用</p>
(12)	その他(使用機材等)	PC 1人1台	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 8	
(2)	コース名称	iOS アプリケーション開発 (Swift) 研修	
(3)	受講料	会員 : 65,000 円、一般 : 95,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	iOS アプリケーションを開発するために必要な Swift の基礎を学習します。また、アプリ開発については iOS SDK を用いてアプリケーション開発に必要な基礎知識であるイベントハンドリング、ストーリーボードの理解、基礎的なアプリケーション作成が出来るカリキュラムとなっております。	
(5)	前提知識 または受講対象者	なんらかのプログラミングの経験がある方	
(6)	日 程	平成 30 年 10 月 10 日 (水) ~ 10 月 12 日 (金)	3 日間
(7)	時 間	10 : 00 ~ 18 : 00	21 時間
(8)	会 場	高度ポリテクセンター	
(9)	定 員	15 名	
(10)	講 師	氏 名	川崎 隆介
		所 属	株式会社フルネス
		略 歴	山口県出身。携帯電話開発会社にて OS (SymbianOS) の拡張業務に従事。オーディオ関連の設計、プログラミング、テストを担当した後、待ち受け画面管理、ファイル情報解析、画像ライブラリに関するプロジェクトリーダーを担当。同会社を退職後独立。iOS、Android のアプリケーション作成、大手広告配信会社のスマートフォン向け広告配信システムの運用、大手メーカーの社内システム構築や店舗向けサイト構築等を行う。現在はシステム開発と C/C++/Objective-C/Java/Swift/PHP/AWS 等プログラミングの企業研修を中心に活動。
(11)	内 容	第 1 日目	1. Swift とは Swift の特徴、実行方法 (プレイグラウンド) 2. データ型と基本制御 定数と変数、制御構文、オプション型、タプル 3. 関数と構造体 関数定義と呼び出し、構造体の定義、プロパティとメソッド 4. オブジェクト指向 クラス定義、イニシャライザ、アクセス修飾子、継承、プロトコル
		第 2 日目	5. アプリ開発の基本 プロジェクトの作成、シミュレータの起動 6. 初めての iOS アプリケーション アプリケーションが起動する仕組み、 ストーリーボード : アプリケーション UI、 アクション : イベント処理、アウトレット : UI 参照、 デリゲート : 委譲、実装 : インタラクション
		第 3 日目	7. Master - Detail アプリケーション Master - Detail : 一覧表示と詳細表示、セグエ : 画面遷移、 一覧表示 : 動的セル、詳細表示 : 静的セル 8. アプリを仕上げる アイコン、起動画面
(12)	その他 (使用機材等)	弊社オリジナルテキスト	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O O 9	
(2)	コース名称	Excel VBA 初級	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	マクロの入門から、基礎的なコーディングの方法、VBAを使ったビジネス書類の作成。ビジネスドキュメント作成の効率化入門レベルのVBAを習得することで、ドキュメント作成作業の効率化を図る。	
(5)	前提知識 または受講対象者	Excelの基本操作ができる方事務担当者など、スタッフ系社員のExcelの効率活用。開発系社員のドキュメント作成の効率化。	
(6)	日 程	平成30年7月17日(火)～7月18日(水)	2日間
(7)	時 間	10:00～17:00	14時間
(8)	会 場	TPSキャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟202号	
(9)	定員	28名(最小催行人員6名)	
(10)	講 師	氏 名	齋藤 啓幸
		所 属	株式会社 クレビュート
		略 歴	大手PCメーカー、Web制作、ネットワークエンジニアを経て、ITインストラクターに。VBAエキスパート(スタンダードレベル)資格のほかMS Office系資格および研修実績多数あり。
(11)	内 容	第1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マクロ記録</li> <li>・ モジュールとプロシージャ</li> <li>・ VBAの構文</li> <li>・ 変数と定数</li> <li>・ セルの操作</li> </ul>
		第2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステートメント</li> <li>・ 関数</li> <li>・ ブックとシートの操作</li> <li>・ デバック</li> <li>・ マクロの実行</li> <li>・ 練習課題</li> </ul>
(10)	その他(使用機材等)	P C	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 0	
(2)	コース名称	Excel VBA 中級	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	VBA 開発案件への対応、ドキュメント類作成の効率化。開発にかかわるすべてのドキュメントの作成を効率的に行えるようにする。Excel VBA の基本文法、コーディング、デバッグの基本的な手法を解説し、ケーススタディとして実際の業務を想定した VBA のプログラムの作成を行い、実践的な知識を習得する。	
(5)	前提知識 または受講対象者	Excel VBA の入門レベルの知識のある方。 PG・SE などの開発担当者	
(6)	日 程	平成 30 年 8 月 9 日(木)～8 月 10 日(金)	2 日間
(7)	時 間	10：00～17：00	14 時間
(8)	会 場	T P S キャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川 2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟 202 号	
(9)	定員	28 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	齋藤 啓幸
		所 属	株式会社 クレビュート
		略 歴	大手 PC メーカー、Web 製作、ネットワークエンジニアを経て、IT インストラクターに。VBA エキスパート（スタンダードレベル）資格のほか MS Office 系資格および研修実績多数あり。
(11)	内 容	第 1 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VBA プログラムの構造と書式</li> <li>・ マクロの分析と効率的な学習</li> <li>・ ステップ実行によるデバッグ</li> <li>・ VBA の基本文法 プロシージャ、変数、セル操作</li> <li>・ ケーススタディ①（実機演習）</li> </ul>
		第 2 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VBA の基本構文 条件分岐、繰り返し処理</li> <li>・ 様々な繰り返し処理</li> <li>・ シート／ブックの操作</li> <li>・ ケーススタディ②（実機演習）</li> </ul>
(10)	その他（使用機材等）	P C	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 1	
(2)	コース名称	Linux サーバ仮想化及び高信頼システム構築研修	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	クラウドサービスやプライベートクラウドの利用が拡大する中、クラウド基盤をはじめとするミッションクリティカルシステムでの Linux/OSS のニーズはますます高まっています。中でもクラウド基盤構築の中核技術である『仮想化技術』と、サーバ間連携など信頼性の高いシステムを構築するための『高可用性技術』を習得することが目的となります。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Linux サーバ構築に携わる方</li> <li>・Linux サーバ基礎知識を習得したい方</li> </ul>	
(6)	日 程	平成 30 年 9 月 13 日(木)～9 月 14 日(金)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	14 時間
(8)	会 場	TPS キャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川 2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟 202 号	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	山本 篤美
		所 属	ALJ Education Plus 株式会社
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2015 年より ALJ Education Plus を設立。法人企業を中心に開発言語、NW、インフラの専任講師として従事。
(11)	内 容	第 1 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高信頼システムの概要</li> <li>2. Linux サーバ 1 台の稼働率を上げる設計</li> <li>3. 複数台のサーバによる高信頼性システムの設計例</li> <li>4. データの共有</li> <li>5. データベースの冗長化</li> <li>6. クラスタシステムの監視</li> </ol>
		第 2 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. システム監視</li> <li>8. ロードシェアリングによるシステムの構築</li> <li>9. アクティブ・スタンバイクラスタによるシステムの構築</li> <li>10. サーバの仮想化</li> <li>11. 仮想サーバを構築する（Xen 編）</li> <li>12. 仮想サーバを構築する（KVM 編）</li> </ol>
(12)	その他（使用機材等）	P C（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 2	
(2)	コース名称	Linux サーバー構築研修	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	Linux サーバー構築の知識を、構築の実習を通しながら学習します。 サーバーを構築した環境で、実際に Web アクセスをしたり、メールの送受信をしたりすることで、サーバーの動作原理やプロトコルの仕組みを理解すること。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Linux サーバー基礎知識を習得したい方</li> <li>・ Linux サーバー構築の基礎を習得したい方</li> </ul>	
(6)	日 程	平成 30 年 7 月 12 日(木)～7 月 13 日(金)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	14 時間
(8)	会 場	T P S キャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川 2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟 202 号	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	山本 篤美
		所 属	ALJ Education Plus 株式会社
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2015 年より ALJ Education Plus を設立。法人企業を中心に開発言語、NW、インフラの専任講師として従事。
(11)	内 容	第 1 日目	1. Linux のインストール準備 OS の環境、ネットワーク環境について、ハードウェア、高度なストレージ管理、コマンドについて、Linux のインストール 2. ネットワーク ネットワークの確認と設定、Web サーバーの動作環境、コマンドによるリモート接続、コマンドによるファイル転送 3. DNS サーバー構築 DNS の仕組み、BIND セキュリティ、ドメインの登録、ドメインの公開
		第 2 日目	4. Web サーバーの構築 Web サーバーの概略、アクセス制御、バーチャルホストの設定 5. メールサーバーの構築演習 メールサーバー概要、演習で使用するソフトウェア、設定ファイルの変更、メールの送受信、メールクライアントを使った演習
(12)	その他（使用機材等）	P C（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 3	
(2)	コース名称	Linux システム管理研修	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	Linux も一般的なシステム用の OS として広く使われるようになったため、導入する側も管理する側も同じレベルで「運用に対する基礎知識」が必要とされています。当研修では Linux を扱うシステム管理者が知っておきたい運用管理の基本を、実習を交えて理解することを目的としています。	
(5)	前提知識 または受講対象者	・Linux サーバー基礎知識を習得したい方	
(6)	日 程	平成 30 年 8 月 21 日(火)～8 月 22 日(水)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	14 時間
(8)	会 場	TPS キャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川 2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟 202 号	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	山本 篤美
		所 属	ALJ Education Plus 株式会社
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2015 年より ALJ Education Plus を設立。法人企業を中心に開発言語、NW、インフラの専任講師として従事。
(11)	内 容	第 1 日目	<p>1. ユーザー情報の管理変更 ユーザーの作成、ユーザー情報の変更、グループの設定、SSH によるリモートログイン、SSH を使ったファイル転送、PAM、sudo</p> <p>2. ネットワーク管理 ネットワークインターフェイスの設定変更と追加、iptables の概要、各種ネットワーク設定ファイル、DHCP サーバーの構築</p> <p>3. サービス管理 ランレベル、サービスの管理、シェルスクリプト、cron 時刻管理（NTP クライアント・NTP サーバー）、コマンドによるリモート接続、コマンドによるファイル転送</p> <p>3. DNS サーバー構築 DNS の仕組み、BIND セキュリティ、ドメインの登録、ドメインの公開</p>
		第 2 日目	<p>4. ファイルシステム管理 POSIX、ACL、SELinux、LVM の設定、バックアップ／リストア</p> <p>5. メンテナンス アップデート管理、アップグレード、監視、リモート・集中監視、MRTG、Nagios</p> <p>6. トラブルシューティング ログ管理、ログローテーション、rsyslog、ネットワークツール、レスキュー</p>
(12)	その他（使用機材等）	PC（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 4	
(2)	コース名称	Wireshark 基礎研修	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	Wireshark の操作概要からパケットキャプチャにより制御詳細を座 学で学んでいただきネットワークトラブルシューティング演習を通 じて習得していただきます。	
(5)	前提知識 または受講対象者	ネットワークの基礎知識を習得したい方。	
(6)	日 程	平成 30 年 7 月 19 日(木)～7 月 20 日(金)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	14 時間
(8)	会 場	T P S キャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川 2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟 202 号	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	山本 篤美
		所 属	ALJ Education Plus 株式会社
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2015 年より ALJ Education Plus を設立。法人企業を中心に開発言語、NW、イン フラの専任講師として従事。
(11)	内 容	第 1 日目	1. LAN アナライザ「Wireshark」の概要 LAN アナライザ「Wireshark」について、 Wireshark を使用する前の留意点 2. Wireshark の基本操作 Wireshark のインストール、Wireshark の画面構成、 パケットキャプチャ、キャプチャフィルタと表示フィルタ 3. パケットの分析手法 ミクロ分析、アノマリ・流量分析、 大量のパケットを効率よくキャプチャする方法、 tshark および JSON の活用
		第 2 日目	4. HTTP HTTP とは、HTTP ヘッダ、HTTP の解析、HTTP/2 5. トラブルシューティング ネットワークのスループットに関するトラブルシューティング、 TCP に着目した遅延分析と切り分け、 TCP のトラブルシューティング 6. その他のパケットキャプチャ セキュリティとパケットキャプチャ VoIP のプロトコルとパケットキャプチャ
(12)	その他（使用機材等）	P C（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	



情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 5	
(2)	コース名称	実践 ネットワーク構築研修	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	近年のレイヤ2 およびレイヤ3 には、スイッチリンクアグリゲーションをはじめとする様々な付加技術が実装されています。本研修では、実際にスイッチを使ってネットワークを構築しながら、これらの技術の役割や特徴を学習します。また、適切な機器の配置や、冗長化技術、追加機能などについて学習します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワークやセキュリティエンジニアを目指す方</li> <li>・ ネットワークアプリケーション開発に携わる方</li> <li>・ ネットワークの基礎知識を理解している方</li> </ul>	
(6)	日 程	平成 30 年 12 月 11 日(火)～12 月 12 日(水)	2 日間
(7)	時 間	10：00～17：00	14 時間
(8)	会 場	T P S キャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川 2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟 202 号	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	山本 篤美
		所 属	ALJ Education Plus 株式会社
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2015 年より ALJ Education Plus を設立。法人企業を中心に開発言語、NW、インフラの専任講師として従事。
(11)	内 容	第 1 日目	1章 レイヤ2スイッチによる簡単なネットワークの構築 2章 VLAN (Virtual LAN) と IEEE802.1Q
		第 2 日目	3章 レイヤ3スイッチによる VLAN 間ルーティング 4章 ネットワーク機器の配置、冗長化およびその他の追加機能
(12)	その他（使用機材等）	P C（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 6	
(2)	コース名称	ネットワーク基礎と応用テクニック	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	ネットワークの基礎項目や通信方式、プロトコルについて簡単な演習を交えながら学習します。実際にネットワーク機器の確認やコマンドを使った実習を行い、Ethernet、IP、TCP、HTTPなどの主要プロトコルについても学習します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの基本的な考え方を理解する。</li> <li>・LANの通信方式の基本やTCP/IPプロトコルについて理解する。</li> <li>・ネットワーク機器の種類と仕組みについて理解する。</li> </ul>	
(6)	日程	平成30年12月10日(月)～12月11日(火)	2日間
(7)	時間	10:00～18:00	14時間
(8)	会場	高度ポリテクセンター	
(9)	定員	15名	
(10)	講師	氏名	三村 かよこ
		所属	株式会社フルネス
		略歴	埼玉県出身。大学卒業後、中堅資格スクールにてOA講師として約1,000名の受講者に対してIT基礎からCADまで多くの講義を登壇。その後、Webサービスを提供するIT企業にインフラエンジニアとして転職。ネットワーク構築、サーバー管理・運用、DBのパフォーマンスチューニング、仮想化、マイグレーション対応等を多く経験。
(11)	内容	第1日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネットワークの概要 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.1 ネットワークの概要、1.2 ネットワークの種類、</li> <li>1.3 ネットワークの通信機器、1.4 ネットワークトポロジ(接続形態)</li> </ol> </li> <li>2. プロトコルの階層構造 <ol style="list-style-type: none"> <li>2.1 プロトコル、2.2 OSI参照モデル、2.3 TCP/IPモデル</li> </ol> </li> <li>3. アプリケーション層のプロトコル <ol style="list-style-type: none"> <li>3.1 代表的なプロトコルの種類、3.2 HTTP、3.3 FTP、</li> <li>3.4 SMTPとPOP3/IMAP4、3.5 DHCP、3.6 DNS</li> </ol> </li> <li>4. トランスポート層のプロトコル <ol style="list-style-type: none"> <li>4.1 代表的なプロトコルの種類、4.2 TCP、4.3 UDP</li> </ol> </li> <li>5. インターネット層のプロトコル <ol style="list-style-type: none"> <li>5.1 代表的なプロトコルの種類、5.2 IP、5.3 NAT、5.4 NAPT、5.5 ARP</li> </ol> </li> </ol>
		第2日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. ネットワークインタフェース層のプロトコル <ol style="list-style-type: none"> <li>6.1 Ethernet、6.2 GSM/CD方式</li> </ol> </li> <li>7. ネットワークコマンド <ol style="list-style-type: none"> <li>7.1 ネットワークコマンドの種類</li> </ol> </li> <li>8. 脅威と脆弱性 <ol style="list-style-type: none"> <li>8.1 脅威と脆弱性、8.2 脅威と脆弱性の種類、8.3 マルウェア</li> <li>8.4 DoS攻撃、8.5 クロスサイトスクリプティング、</li> <li>8.6 SQLインジェクション</li> </ol> </li> <li>9. セキュリティ対策 <ol style="list-style-type: none"> <li>9.1 セキュリティ対策の方法、9.2 ウィルス対策ソフトのインストール、</li> <li>9.3 ファイアウォールの設置、9.4 プロキシサーバの設置、9.5 DMZの設置</li> </ol> </li> <li>10. 暗号化技術と認証技術 <ol style="list-style-type: none"> <li>10.1 暗号化技術、10.2 暗号方式、10.3 認証技術、10.4 デジタル署名</li> </ol> </li> </ol>
(12)	その他(使用機材等)	PC 1人1台	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 7	
(2)	コース名称	SQL 基礎と実践テクニック	
(3)	受講料	会員：55,000 円、一般：85,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	データベースに関する基礎知識と実際のプログラミングで重要となる SQL の仕組みや使い方を理解します。また、データベースの特性を理解した上で、演習を通じて SQL 文の書き方を習得します。繰り返し SQL 文を記述することで短期間に実践的な SQL 文の記述能力を高めます。	
(5)	前提知識 または受講対象者	データベースの基礎知識を有している方	
(6)	日 程	平成 30 年 7 月 4 日(水)～7 月 6 日(金)	3 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	21 時間
(8)	会 場	高度ポリテクセンター	
(9)	定 員	15 名	
(10)	講 師	氏 名	満野 聡美
		所 属	株式会社フルネス
		略 歴	大学卒業後、メーカー系ソフトウェア会社に入社。 主に販売管理システムの開発に従事。人事部門に異動後は、新人研修の企画・運営・講義、社内における情報処理試験対策の企画・運営などを担当。現在は株式会社フルネスにて IT 基礎・Java 研修などの講師を担当している。
(11)	内 容	第 1 日目	1. RDBMS：RDBMS とは、テーブル構造、データ型、ドメイン定義 2. SQL：SQL とは、SQL の歴史、SQL の策定者 3. DDL【Data Definition Language】 テーブルの作成と削除、制約、インデックスの作成と削除、ビューの作成と削除、シーケンスの作成と削除 4. 参照系 SQL SELECT 文の基本構文、重複レコードの排除、レコードの指定、WHERE 句で使用する条件、LIKE 比較条件とワイルドカード、並べ替え、変換関数、集合関数、カラム別名、グループ化
		第 2 日目	5. 更新系 SQL 更新系 SQL の種類、UPDATE 文の基本構文、INSERT 文の基本構文、DELETE 文の基本構文、DELETE の物理削除と論理削除 6. DML【Data Manipulation Language】 複数テーブルからの取得（結合）、WHERE 句を使用した結合、直積結合（CROSS JOIN）、内部結合（INNER JOIN）、外部結合（OUTER JOIN）、内部結合と外部結合の違い、自然結合（NATURAL JOIN）
		第 3 日目	6. DML【Data Manipulation Language】 副問い合わせ、副問い合わせを使用した UPDATE、副問い合わせを使用した INSERT、副問い合わせを使用した DELETE、和集合（UNION） 7. DCL【Data Control Language】：権限、トランザクション、ロック 8. その他： 行番号、ストアードプロシージャ、トリガー
(12)	その他（使用機材等）	PC 1 人 1 台	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 8	
(2)	コース名称	データベース設計とパフォーマンスチューニング	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	データベース設計時に陥りやすい落とし穴や問題点を理解し、概念設計、論理設計、物理設計のテクニックを習得します。また、正規化の目的や効果、性能向上（パフォーマンスチューニング）についても身に付けていただきます。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベースの構築に携わる方</li> <li>・ システム開発に携わる方</li> </ul>	
(6)	日 程	平成30年12月12日(水)～12月14日(金)	3日間
(7)	時 間	10:00～18:00	21時間
(8)	会 場	高度ポリテクセンター	
(9)	定 員	15名	
(10)	講 師	氏 名	古川 正寿
		所 属	株式会社フルネス（代表取締役CEO）
		略 歴	東京都出身。ソフトハウスで金融システムやマイクロコンピュータ、PC、UNIXを用いた機械制御システム、FAなどのシステム開発を担当。その後、株式会社フルネスを設立しWindows、PC-UNIXを中心としたシステム開発やBorland Delphiを用いたシステム開発およびコンサルティング、Borland公認講師を務めながらコンピュータ雑誌などに技術記事を連載。現在は、IT全般における教育、コンサル、書籍執筆などに従事。また、独立行政法人雇用・能力開発機構の講師なども勤めている。特にSpring4、Go、Python等最新の技術については特に注力し研修を行っている。
(11)	内 容	第1日目	<p>1. DB設計作業の悩ましさ DB利用システムの根底にある考え方、DB設計とは？、DB設計のおおまかな流れ、概念設計での作業、論理設計（RDBMS）と物理設計（RDBMS）での作業</p> <p>2. 概念設計 情報収集のアプローチ方法、ER図による情報共有、エンティティの抽出、リレーションシップの表現、「多対多」リレーションシップの解消</p> <p>3. 論理設計（その1） 正規化の目的、非正規形が内包する問題点、正規化のもたらす効果、一意識別子と関数従属、キーの種別、正規化（非正規形・1NF～3NF）、業務的観点からの正規化 4.3 レコードの指定</p>
		第2日目	<p>4. 実践的なDB設計 設計手順とポイント、リレーションシップと参照キー割当て</p> <p>5. 論理設計（その2） DDL命令、テーブル（表）への変換、テーブル（表）への制約付与、エンティティ整合性制約、参照整合性制約、ビュー（仮想表）の設計</p> <p>6. 物理設計 実行パフォーマンスの考慮、インデックスの設定、非正規化の検討</p>
		第3日目	<p>7. 実行計画 実行プロセスの概要、オプティマイザの動作、統計情報の取得、実行計画の確認</p> <p>8. 性能向上の検討 性能悪化原因の特定、インデックスの設定、複雑なSQL文の分割測定、ホストプログラムとの作業分担、接続プールの使用、ハードウェアレベルでの工夫</p>
(12)	その他（使用機材等）	PC 1人1台	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 1 9	
(2)	コース名称	Amazon Web Services 研修	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p>初めて Amazon Web Services (AWS) を利用する方を対象に AWS の利用方法を習得し、基本的な Web サービスが一人で構築、運用できる知識を習得できる研修です。今後、更なる利用が増えると予想される AWS を 3 日間でしっかりと習得できる研修です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドコンピューティングの概念を習得する</li> <li>・AWS に代表的なサービスを把握する</li> <li>・AWS に基本的な操作方法を習得する</li> <li>・可用性やアクセス負荷を考慮したインフラ環境を構築できるようになる</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AWS に興味のある方</li> <li>・これから導入を検討されている方</li> </ul>	
(6)	日 程	平成 30 年 9 月 27 日(木)～9 月 28 日(金)	3 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	21 時間
(8)	会 場	高度ポリテクセンター	
(9)	定 員	15 名	
(10)	講 師	氏 名	三村 かよこ
		所 属	株式会社フルネス
		略 歴	埼玉県出身。大学卒業後、中堅資格スクールにて OA 講師として約 1,000 名の受講者に対して IT 基礎から CAD まで多くの講義を登壇。その後、Web サービスを提供する IT 企業にインフラエンジニアとして転職。ネットワーク構築、サーバー管理・運用、DB のパフォーマンスチューニング、仮想化、マイグレーション対応等を多く経験。
(11)	内 容	第 1 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クラウドコンピューティングとは クラウドコンピューティングの定義、クラウドサービスの分類、クラウドを実現している技術</li> <li>2. AWS について AWS の概要、AWS のアカウント準備、インスタンス起動準備、Amazon EC2 の利用方法、Amazon S3 の利用方法</li> <li>3. ミニマム構成のサーバー環境 Apache インストール、MySQL インストール、PHP のインストール、EIP の利用、RDS の利用</li> </ol>
		第 2 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 可用性の確保 可用性とは、ロードバランサ、アプリケーションサーバーの冗長化レプリケーション</li> <li>5. 負荷分散 負荷分散とは、AmazonS3 の活用、レプリカの活用</li> <li>6. 演習 Movable Type とは、Movable Type インストール、負荷分散によるパフォーマンス向上、可用性の確保</li> </ol>
(12)	その他（使用機材等）	PC 1 人 1 台	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 0	
(2)	コース名称	Python プログラミング基礎研修	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p>近年、人工知能や機械学習、Deep learning の普及に伴い、非常に注目されている Python。最近では、大量のデータを分析したり、機械学習などの普及より高度な技術を必要になってきたため、これから Python の需要が広がる可能性が高いということで受講を受けられる方が増えております。本研修では Python の特徴や仕組みを理解し、講義と実習を通して Python プログラミングの基礎知識を身に付けます。本カリキュラムは 3 系となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Python の環境設定から言語の特徴、活用方法を実機を通じて学習する</li> <li>・ Python の使い方を学び、簡単なコーディングができるようになる</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	特に問いません	
(6)	日 程	平成 30 年 11 月 21 日(木)～11 月 22 日(金)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	14 時間
(8)	会 場	高度ポリテクセンター	
(9)	定 員	15 名	
(10)	講 師	氏 名	佐藤 美登利
		所 属	株式会社フルネス
		略 歴	青森県出身。大学卒業後、システム開発会社にて、金融・保険関連の Web アプリケーション開発を担当。その後社内教育の運営、Web サイト運用などに従事しつつテストエンジニア向け研修など後進の育成に携わる。現在は株式会社フルネスにて IT 教育に従事。Java のみならず JavaEE、Python、Django、Scala など幅広い研修登壇をしている。
(11)	内 容	第 1 日目	<p>1. Python の概要：Python とは、Python の特徴</p> <p>2. 環境の作成：Python のインストール、Python の起動、統合開発環境</p> <p>3. 基本文法：print 関数、コメント、演算子、変数、予約語、制御構造</p> <p>4. データ型：データ型の種類、オブジェクト型、数値型、整数型、文字列型、None 型、リスト、タプル、辞書、セット</p> <p>5. 関数：関数、引数、戻り値、高度な引数利用、関数オブジェクト、関数のネスト、クロージャ、デコレータスコープ</p> <p>6. クラス：クラス、属性、操作、クラスの利用、クラスの属性、クラスメソッド、スタティックメソッド</p>
		第 2 日目	<p>7. クラスの継承：クラスの継承、属性、コンストラクタ、メソッド、多重継承</p> <p>8. モジュール化：モジュール化、インポート、パッケージ、スクリプト化</p> <p>9. 文字列：文字列、文字列の生成、文字列の操作</p> <p>10. 日付/時間：日付/時間操作モジュール、datetime クラス、timedelta クラス、date クラス</p> <p>11. ファイル操作：ファイル操作、パス構築、ファイルシステム操作</p> <p>12. 正規表現：正規表現、特殊文字、正規表現の利用</p>
(12)	その他（使用機材等）	PC 1 人 1 台	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 1
(2)	コース名称	IoT&AI 時代を勝ち抜く Python 入門
(3)	受講料	会員 : 55,000 円、一般 : 85,000 円
(4)	達成目標 または育成目的	あらゆる業界で注目を集めている IoT と AI の概要を理解し世の中の動きを知るとともに、実務に活かすためのツールとして、人工知能分野でダントツの人気を誇る Python の基礎を学習します。
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoT と AI の概要を理解し、実務への活用イメージを掴みたい方</li> <li>Python の基礎を習得したい方</li> </ul>
(6)	日 程	平成 30 年 9 月 25 日(火) ~27 日(木) (3 日間)
(7)	時 間	10 : 00~18 : 00 (21 時間)
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校 3 号館
(9)	定 員	15 名 (最少催行人員 8 名)
(10)	講 師	氏名 : 福井 高志
		所属 : 株式会社 R O X
		略歴 : 総合商社にてリスク管理職に従事。現在はデータ解析を軸としたサービス開発を行うとともに、AI 人材育成講師としても活動の場を広げている。
(11)	内 容	第 1 日目  1. IoT 概論 ・ IoT とは? ・ IoT 利活用事例 ・ IoT が求められる背景と生み出す価値 ・ 将来性と今後の展望、課題  2. IoT のシステム構成 ・ デバイスとサーバ ・ センサーとアクチュエーター ・ ネットワーク ・ IoT プラットフォームとクラウド
		第 2 日目  3. データ分析と人工知能 ・ データ分析の手法と実務の流れ ・ 人工知能の活用  4. 人工知能概論 ・ 人工知能とは ・ 人工知能開発の歴史 ・ 現在の人工知能に出来ることと、得意・不得意  5. Python 概要・入門 ・ Python とは ・ 環境構築 ・ 変数とデータ型
		第 3 日目  6. Python 入門 (続き) ・ 制御構文 (条件分岐と繰り返し) ・ 関数の定義 ・ リスト、タプル、辞書型 ・ モジュールとパッケージ (Numpy、Pandas、Matplotlib 等)  7. Python を用いた機械学習 ・ 機械学習概要 (人工知能、機械学習、ディープラーニングの関係) ・ 機械学習の手法 ・ 演習 ・ 実務活用における注意点
(12)	その他 (使用機材等)	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 2	
(2)	コース名称	ビッグデータ統計分析【基礎】	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	データサイエンティスト、ビッグデータ、統計、機械学習、AI など、データ分析にまつわる様々なキーワードを中心にビッグデータ統計分析に関する基礎的な知識を修得します。プログラミング言語については Python の各種ライブラリを利用して、データ分析の基本的なスキルを身に付けます。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグデータ統計分析に興味のある方</li> </ul>	
(6)	日程	平成 30 年 8 月 28 日(水) ~30 日(金)	(3 日間)
(7)	時間	10:00~18:00	(21 時間)
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校 3 号館	
(9)	定員	15 名 (最少催行人員 8 名)	
(10)	講師	氏名： 福井 高志	
		所属： 株式会社 R O X	
		略歴： 総合商社にてリスク管理職に従事。現在はデータ解析を軸としたサービス開発を行うとともに、AI 人材育成講師としても活動の場を広げている。	
(11)	内容	第 1 日目	データ活用概論 データ分析ソフトウェアの紹介と分析環境構築 Python 基礎 Python 応用 Numpy の基本
		第 2 日目	Pndas の基本 データの可視化 統計解析全体像 推定、検定 相関
		第 3 日目	回帰分析 機械学習全体像 教師あり学習 教師無し学習 大規模データ処理
(12)	その他 (使用機材等)	P C (一人一台)、プロジェクター、ホワイトボード	



情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 3	
(2)	コース名称	IoT・AI 基礎研修	
(3)	受講料	会員：60,000 円、一般：90,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	本講座では IoT モジュールの作成、データの取得から、データ活用までの一連の流れを経験し、IoT・AI・DeepLeraning への理解を深めます。前半では、IoT モジュールとして様々製品に広く活用されている、「Raspberry Pi」をベースに、画像取得モジュールの作成を体験します。後半では、作成した IoT モジュールから得たデータの活用について「AI・DeepLeraning」の概要を学ぶとともに、Python を用いて、画像認識の仕組みを構築します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IoT の概要を理解するとともに、「Raspberry Pi」で IoT 端末を作成したい方</li> <li>・ Python の基本構文を理解したい方</li> <li>・ AI、機械学習、DeepLeraning 概要を理解したい方</li> </ul>	
(6)	日 程	平成 30 年 7 月 26 日(木)～7 月 27 日(金)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18：00	14 時間
(8)	会 場	TPS キャリアカレッジ市川校 千葉県市川市市川 2-1-1 パーク・ノヴァ市川 事務棟 202 号	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	山本 篤美
		所 属	ALJ Education Plus 株式会社
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2015 年より ALJ Education Plus を設立。法人企業を中心に開発言語、NW、インフラの専任講師として従事。
(11)	内 容	第 1 日目	1. IoT 概論 IoT とはなにか、AI とは、強い AI と弱い AI、AI が注目されている理由、DeepLearning とは、Raspberry Pi とは 2. 環境設定 OS 設定、日本語入力(遠隔操作)、APT、Web サーバーのインストール 3. Raspberry Pi を用いた電子工作 LED を光らせる・LED を点滅させる 4. Python について Python とは、基本構文、モジュールとパッケージ
		第 2 日目	5. 機械学習 機械学習概論、DeepLearning 概要、教師あり学習、画像認識について 6. Raspberry Pi で撮影した画像認識 (例) 手書き数字を撮影→判別など Raspberry Pi (3. で作成) のカメラ使用と画像の読み込み Python での画像認識
(12)	その他(使用機材等)	HDMI 対応ケーブル、HDMI 対応モニター、USB キーボード、USB マウス、Raspberry Pi、各機材、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 4	
(2)	コース名称	Python で学ぶ AI 入門講座	
(3)	受講料	会員：40,000 円、一般：60,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	データ分析の基本となる統計数理、回帰の知識を習得する。 Python 言語の基礎知識を習得する。	
(5)	前提知識 または受講対象者	何らかのプログラム経験をお持ちの方 機械学習を学びたい方 データ解析の基礎学びたい方 Python 言語を学びたい方	
(6)	日 程	平成 30 年 11 月 7 日(水)～11 月 8 日(木)	2 日間
(7)	時 間	10：00～18:00	14 時間
(8)	会 場	ハロー会議室千葉駅前 RoomD 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 1-1-1 千葉駅前ビル 4 階	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 5 名）	
(10)	講 師	氏 名	植木 学
		所 属	株式会社システムシェアード
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2009 年よりシステムシェアード所属。東京 IT スクール専任講師。
(11)	内 容	第 1 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI 技術の概要</li> <li>・ データ分析基礎</li> <li>・ 統計基礎</li> </ul>
		第 2 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回帰</li> <li>・ Python 基本構文</li> <li>・ モジュールとパッケージ</li> </ul>
(12)	その他（使用機材等）	P C（一人一台）、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 5	
(2)	コース名称	最新技術動向入門講座【IoT/クラウド/ビッグデータ/AI】	
(3)	受講料	会員：25,000円、一般：35,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	IoT、クラウド、ビッグデータ、AI、ブロックチェーンなど IT 業界の現在と今後について全体像を捉えながら理解する。	
(5)	前提知識 または受講対象者	IT 業界の最新動向を理解したい方 IoT・ビッグデータ・AI 等の最新ワードに疎い方 最新技術に興味のある方	
(6)	日 程	平成 30 年 10 月 24 日 (水)	1 日間
(7)	時 間	10 : 00 ~ 17 : 00	6 時間
(8)	会 場	ハロー会議室千葉駅前 Room A 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 1-1-1 千葉駅前ビル 4 階	
(9)	定 員	30 名 (最小催行人員 5 名)	
(10)	講 師	氏 名	植木 学
		所 属	株式会社システムシェアード
		略 歴	大手 SI でのシステムエンジニア経験を経て、2009 年よりシステムシェアード所属。東京 IT スクール専任講師。
(11)	内 容	第 1 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド基礎</li> <li>・ビッグデータ基礎</li> <li>・IoT 基礎</li> <li>・AI 基礎</li> <li>・ハイモータル IT</li> <li>・FinTech</li> <li>・ブロックチェーン</li> <li>・IoT 時代の人材育成</li> </ul>
(12)	その他 (使用機材等)	P C (一人一台)、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 6	
(2)	コース名称	テスト技法入門講座	
(3)	受講料	会員：25,000円、一般：35,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	テスト工程における各種技法やツール等の知識を習得する。 テスト仕様書の作成などの演習を行うことで知識に加え実践力を身に付ける。	
(5)	前提知識 または受講対象者	開発エンジニアになりたての方 JUnit等のツールの使用方法を学びたい方 今後テスト工程への参画を予定されている方	
(6)	日 程	平成30年8月23日(木)	1日間
(7)	時 間	10:00~18:00	7時間
(8)	会 場	ハロー会議室千葉駅前 RoomD 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見1-1-1 千葉駅前ビル4階	
(9)	定 員	20名(最小催行人員 5名)	
(10)	講 師	氏 名	植木 学
		所 属	株式会社システムシェアード
		略 歴	大手SIでのシステムエンジニア経験を経て、2009年よりシステムシェアード所属。東京ITスクール専任講師。
(11)	内 容	第1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発プロセス基礎</li> <li>・品質管理基礎</li> <li>・単体試験基礎</li> <li>・単体試験ツールとテスト技法</li> <li>・結合試験基礎</li> <li>・結合試験ツールとテスト技法</li> <li>・総合試験基礎</li> </ul>
(12)	その他(使用機材等)	PC(一人一台)、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 7	
(2)	コース名称	ソフトウェアテスト手法初級	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p><b>【達成目標】</b> ソフトウェア開発のV字モデルに基づいたテストのフェーズ（テストレベル）や、テストの目的に応じたテストの種類（テストタイプ）など、ソフトウェアテストの重要な概念を理解する。 基本的なテスト技法を活用してテストの設計や実行ができるようになる。</p> <p><b>【内容】</b> JSTQB Foundation Level の知識体系に基づいたテキストを使用し、主に下記項目を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テストの基礎（テストの必要性、一般的なテストの目的等）等</li> <li>2. テストレベルとテストタイプ</li> <li>3. 基本的なテスト技法（技法演習あり）</li> <li>4. テスト設計演習（テスト分析・テスト設計）</li> <li>5. テストのプロセスと成果物</li> </ol>	
(5)	前提知識 または受講対象者	ソフトウェア開発／ソフトウェアテストの未経験者～初心者 （実務経験0年～5年程度） ※ソフトウェア開発実務の知識・経験は不問	
(6)	日 程	平成30年10月25日(木)～10月26日(金)	2日間
(7)	時 間	10：00～17：30	13時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定 員	20名（最小催行人員8名）	
(10)	講 師	氏名： 望月 信昭	
		所属： 日本ナレッジ株式会社	
		略歴： ソフトウェア業界経験30年、うちソフトウェア設計20年。 2007年よりソフトウェアテスト分野のコンサルタントとして活動。テストプロセスの評価・改善、トレーニング（研修）の開発、講師、ワークショップファシリテーター等を担当。 日本ファシリテーション協会会員。失敗学会会員。	
(11)	内 容	第1日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テストの基礎（テストの必要性、一般的なテストの目的等）</li> <li>2. テストレベルとテストタイプ</li> <li>3. 基本的なテスト技法（同値分割、境界値分析、デシジョンテーブル）</li> </ol> <p>※(演習)各技法について演習あり</p>
		第2日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. テスト設計演習             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) テスト分析（機能テスト）</li> <li>(2) テスト設計（機能テスト）</li> <li>(3) テスト分析（非機能テスト）</li> </ol> </li> <li>5. テストプロセスと成果物</li> </ol> <p>※(演習)インシデント報告</p>
(12)	その他（使用機材等）	プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 8	
(2)	コース名称	ソフトウェアテスト手法中級	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p><b>【達成目標】</b> 「ソフトウェア開発全体の中でテストが果たす役割、重要性」という観点から、ソフトウェアテストの体系的な知識（基本的な概念・用語、よいテストの考え方）を習得・整理する。 基本的なテスト技法について、その特徴や注意点を理解する。</p> <p><b>【内容】</b> JSTQB Foundation Level のシラバスに準拠したテキストを使用し、下記項目を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テストの基礎</li> <li>2. ソフトウェアライフサイクルを通じたテスト</li> <li>3. 静的技法</li> <li>4. テスト設計技法</li> <li>5. テストのマネジメント</li> <li>6. テスト支援ツール</li> </ol>	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェア開発／ソフトウェアテストの初心者～中級者（実務経験1年～5年程度）</li> <li>・中堅以上のソフトウェア開発従事者（開発チームリーダー、テストチームリーダー、PL、PM）</li> </ul>	
(6)	日 程	平成30年11月27日(火)～11月29日(木)	3日間
(7)	時 間	10:00～17:30	19.5時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定 員	20名（最小催行人員8名）	
(10)	講 師	氏名： 望月 信昭	
		所属： 日本ナレッジ株式会社	
		略歴： ソフトウェア業界経験30年、うちソフトウェア設計20年。2007年よりソフトウェアテスト分野のコンサルタントとして活動。テストプロセスの評価・改善、トレーニング（研修）の開発、講師、ワークショップファシリテーター等を担当。日本ファシリテーション協会会員。失敗学会会員。	
(11)	内 容	第1日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テストの基礎</li> <li>2. ソフトウェアライフサイクルを通じたテスト</li> </ol> ※演習あり（1章・2章）
		第2日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 静的技法</li> <li>4. テスト設計技法</li> </ol> ※演習あり（4章）
		第3日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. テストのマネジメント</li> <li>6. テスト支援ツール</li> </ol> ※演習あり（5章）
(12)	その他（使用機材等）	プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T O 2 9	
(2)	コース名称	ネットワークセキュリティ入門	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	コンピュータネットワークのインフラの規定、無資格者のアクセスからネットワークを守る技術、ネットワークからアクセスできる資源を管理する技術など、ネットワーク管理者がすべき監視内容や導入すべき管理方針などの効果について理解します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	ネットワークセキュリティに興味がある方。 ネットワーク業務やセキュリティ業務に携わる方	
(6)	日 程	平成30年12月19日(水)～21日(金)	3日間
(7)	時 間	10:00～17:40	20時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定 員	20名(最小催行人員8名)	
(10)	講 師	氏 名	風間 雅宏
		所 属	船橋情報ビジネス専門学校 非常勤講師
		経 歴	ITベンダー系企業にて、主に通信ネットワークのシステム設計、通信ネットワークシステム開発プロジェクトのプロジェクトマネジメント、通信機器のハードウェア開発、営業企画などの業務に従事。退職後、ネットワークや情報セキュリティ関連の講師、中小製造業の経営支援などの活動を行っている。 技術経営修士(MOT)、ITコーディネータ、情報処理技術者(ネットワークスペシャリスト、情報セキュリティマネジメント)、プライバシーマーク審査員補などの資格を保有。
(11)	内 容	第1日目	1. 最近のセキュリティ動向 2. セキュリティの基礎知識 ・セキュリティの概念と必要性、・セキュリティの脅威 3. ネットワークの基礎知識 ・ネットワークの全体像、・ネットワークの技術要素の概要
		第2日目	4. セキュリティ対策と実装技術 ・暗号化技術、・認証技術、・セキュアプロトコル、・多層化防御、 ・検疫ネットワーク、・侵入検知/侵入防止、 ・セキュリティ製品(ファイアーウォール、IDS/IPS、WAFなど)
		第3日目	5. 無線LANとセキュリティ ・脅威と脆弱性 ・セキュリティ対策 6. IoTとセキュリティ ・脅威と脆弱性 ・セキュリティ対策
(12)	その他(使用機材等)	PC(グループ台)、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	M001	
(2)	コース名称	プロジェクトマネジメント（QCD）入門	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● システム開発の遅滞要因や予算オーバー要因の理解およびリスク対応計画などを理解し、実務上のプロジェクトを成功裏に収める知識とスキルを修得し、これらを活用できるようになるために、システム開発の活動において、品質・コスト・納期のトレードオフの関係を管理する知識を体系的に学ぶ。</li> <li>● プロジェクトマネジメントのケーススタディを通じて、スケジュール作成と遅延要因、予算化と予算オーバー要因、リスク分析とリスク対応計画などを理解する。</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	システム開発プロジェクトのリーダー およびメンバーとして携わる方	
(6)	日程	平成30年11月7日(水)～11月9日(金)	3日間
(7)	時間	10:00～17:40	20時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名（最小催行人員8名）	
(10)	講師	町田 陽子	
		株式会社ムーヴフォワード 代表取締役	
		独立系ITコンサルティング会社にてITサービスプロバイダーとしてプロジェクトを経験後、事業会社のIT子会社にて、ユーザー企業に近い立場にて、プロジェクト企画～開発～保守までの工程をプロジェクトマネージャー補佐として経験。現在、プロジェクトマネジメントに特化したコンサルティング会社にて、様々な業種・業界・プロジェクトを対象にプロジェクトマネージャー、PMO業務に従事。	
(11)	内容	第1日目	1. よく起こる問題現象 2. プロジェクトの問題（品質低下、納期遅延、コスト超過） 3. プロジェクトマネジメントの必要性 4. プロジェクトマネジメントプロセス
		第2日目	6. スコープ計画とスコープ定義：WBS 7. スケジュール作成：過負荷やクリティカルパスの調整など 8. コスト見積りと予算計画の作成 9. 品質計画とソフトウェア品質特性 10. リスク管理計画 11. プロジェクト計画作成演習
		第3日目	12. 実行管理・プロジェクト遂行過程のマネジメント 13. 進捗管理：スケジュール調整、 14. 変更管理 15. プロジェクトの変更管理演習：利害関係者との折衝など 16. ステークホルダーマネジメント
(12)	その他（使用機材等）	PC（グループで一台）、プロジェクター、ホワイトボード、付箋	



情報通信人材研修

(1)	コース番号	M O O 2	
(2)	コース名称	プロジェクト管理の勘所	
(3)	受講料	会員：25,000 円、一般：35,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクト管理の目的・寄与するところを再確認する</li> <li>● プロジェクト運営で発生しうる問題事例をベースに、対処方法・事前予防策をディスカッションすることで、一般的なプロジェクト管理手法だけではカバーできない実践に活かせる視点・考え方を学ぶ</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	システム導入プロジェクト経験 5～10 年程度の方 チーム管理、プロジェクト管理の実務を経験されている方	
(6)	日 程	平成 30 年 10 月 19 日（金）	1 日間
(7)	時 間	10:00～17:30	6.5 時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校	
(9)	定 員	20 名（最少催行人員 8 名）	
(10)	講 師	氏 名	町田 陽子
		所 属	株式会社ムーヴフォワード 代表取締役
		略 歴	独立系 IT コンサルティング会社にて IT サービスプロバイダーとしてプロジェクトを経験後、事業会社の IT 子会社にて、ユーザー企業に近い立場にて、プロジェクト企画～開発～保守までの工程をプロジェクトマネージャー補佐として経験。現在、プロジェクトマネジメントに特化したコンサルティング会社にて、様々な業種・業界・プロジェクトを対象にプロジェクトマネージャー、PMO 業務に従事。
(11)	内 容	第 1 日目 (午前)	<p>0. オープニング：研修の目的と進め方について</p> <p>1. 講義：プロジェクト管理の目的と範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトを構成する要素とは</li> <li>・ プロジェクト管理の意義</li> </ul> <p>2. ワーク：よくある事象と問題点の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々人の経験上で直面した事象と管理上の問題点の考察</li> <li>・ グループでの共有</li> </ul> <p>3. 講義：プロジェクト管理のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程別、ステークホルダー別にみるチェックポイント</li> </ul>
		第 1 日目 (午後)	<p>4. ワーク：事例に基づくグループディスカッション①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あるプロジェクトの計画を参照し、どのような点に注意してプロジェクト管理をしていくべきかをまとめる</li> </ul> <p>5. ワーク：事例に基づくグループディスカッション②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ある問題事象が発生したプロジェクトの状況を参照し、PM としてどのような対処を行うかをまとめる</li> </ul> <p>6. 講義：プロジェクト管理エリアとその役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般的なプロジェクト管理エリアとその役割</li> <li>・ 実務上必要となる視点とスキル</li> </ul> <p>7. プロジェクト管理ツールと手法の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト管理ツールの有効性と落とし穴</li> </ul> <p>8. 振り返り</p>
(12)	その他（使用機材等）	P C（グループで一台）、プロジェクター、ホワイトボード、付箋	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	M O O 3	
(2)	コース名称	プロジェクト計画入門	
(3)	受講料	会員：25,000 円、一般：35,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクト計画の目的・重要性を理解する</li> <li>● プロジェクト計画立案／計画変更のプロセスを体験することで、プロジェクト計画書作成・プロジェクト計画提案の基礎を身に付ける</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	システム導入プロジェクト経験 5 年程度の方 プロジェクトマネージャー候補の方	
(6)	日 程	平成 30 年 9 月 12 日 (水)	1 日間
(7)	時 間	10:00~17:30	6.5 時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校	
(9)	定 員	20 名 (最少催行人員 8 名)	
(10)	講 師	氏 名	町田 陽子
		所 属	株式会社ムーヴフォワード 代表取締役
		略 歴	独立系 IT コンサルティング会社にて IT サービスプロバイダーとしてプロジェクトを経験後、事業会社の IT 子会社にて、ユーザー企業に近い立場にて、プロジェクト企画～開発～保守までの工程をプロジェクトマネージャー補佐として経験。現在、プロジェクトマネジメントに特化したコンサルティング会社にて、様々な業種・業界・プロジェクトを対象にプロジェクトマネージャー、PMO 業務に従事。
(11)	内 容	第 1 日目 (午前)	0. オープニング：研修の目的と進め方について 1. 講義：プロジェクト計画の目的と範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトを構成する要素とは</li> <li>・ プロジェクト計画の意義</li> </ul> 2. 講義：プロジェクト計画立案のステップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトの企画～立ち上げ</li> <li>・ プロジェクト計画で策定すべき各種計画の立案</li> <li>・ プロジェクト計画書の承認</li> </ul>
		第 1 日目 (午後)	3. ワーク：プロジェクト計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ある顧客から受けた RFP に基づき、プロジェクト計画を立案する(WBS、スケジュール、要員、費用 に限定)</li> <li>・ グループ発表</li> </ul> 4. ワーク：プロジェクト計画書の変更 ※主要な計画に限定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト進行中に発生したある問題を受けて、変更による影響も考慮し、プロジェクト計画を修正／変更する</li> <li>・ グループ発表</li> </ul> 5. 講義：プロジェクト計画立案のポイント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要となる計画と立案時の視点</li> <li>・ ワークで対象外とした各種計画の立案方法とポイント</li> <li>・ プロジェクト計画書の合意の重要性</li> </ul> 6. 振り返り
(12)	その他 (使用機材等)	P C (グループで一台)、プロジェクター、ホワイトボード、付箋	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	M O O 4	
(2)	コース名称	情報セキュリティマネジメント入門	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	情報セキュリティマネジメントの概念、必要性、対応策、運用などについて体系的に学習し、講義で得た知識を、演習を通じて具体的に理解することにより、情報セキュリティを意識し、業務における内部統制の有効性を高める。ISMS構築の基礎知識を修得する。	
(5)	前提知識 または受講対象者	情報セキュリティ・マネジメントシステムの構築に興味にある方。	
(6)	日 程	平成30年11月15日(木)～11月16日(金)	2日間
(7)	時 間	10:00～17:30	13時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定 員	20名(最小催行人員8名)	
(10)	講 師	氏 名	風間 雅宏
		所 属	船橋情報ビジネス専門学校 非常勤講師
		経 歴	ITベンダー系企業にて、主に通信ネットワークのシステム設計、通信ネットワークシステム開発プロジェクトのプロジェクトマネジメント、通信機器のハードウェア開発、営業企画などの業務に従事。退職後、ネットワークや情報セキュリティ関連の講師、中小製造業の経営支援などの活動を行っている。 技術経営修士(MOT)、ITコーディネータ、情報処理技術者(ネットワークスペシャリスト、情報セキュリティマネジメント)、プライバシーマーク審査員補などの資格を保有。
(11)	内 容	第1日目	1. 情報の概念と保護  2. 情報セキュリティの概念 (機密性、完全性、可用性、脅威と脆弱性、等)  3. 情報セキュリティマネジメントの計画・構築 (セキュリティポリシー、対策基準、等)
		第2日目	1. 情報セキュリティ対策 (人的・物理的・技術的)  2. 情報セキュリティの運用 (監視、侵害時の対応、情報セキュリティ関連法規、等)
(12)	その他(使用機材等)	PC(グループ台)、プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	A001	
(2)	コース名称	システム設計品質向上のための要件定義入門	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発の要件として定義すべき事項を理解し、手戻りが少ないシステム開発要件を定義できる。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 要件定義の作業の流れと内容を理解できる</li> <li>2. 要件定義する要件を定義できる</li> <li>3. 要件定義における不明点を抽出できる</li> <li>4. 要件定義における問題点を特定できる</li> <li>5. 要件定義のための現状調査方法を理解できる</li> <li>6. 要件定義のためのインタビューを実践できる</li> <li>7. 要件として定義したものを評価できる</li> <li>8. 要件定義書を作成できる</li> <li>9. 要件定義書のレビューができる</li> </ol> </li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム設計の業務経験5年以上の方</li> <li>・要件定義フェーズの基本手順/手法を学びたい方</li> <li>・要件定義フェーズの基本手順/手法を実務に適用したいシステム設計担当の方</li> </ul>	
(6)	日程	平成30年12月7日(金)～12月8日(土)	2日間
(7)	時間	10:00～17:30	13時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名(最小催行人員8名)	
(10)	講師	氏名	寺池 光弘
		所属	株式会社CACエクシケア 人事部 教育実施責任者
		略歴	名古屋大学卒、英国レスター大学 MBA、情報処理技術者試験委員 ・株式会社シーエーシーにて、金融系・食品系・製薬系のシステム開発／戦略系コンサルティングおよび運用サービスの改善活動を経験後、グループ会社のCAC マルハニチロシステムズの教育責任者として評価制度・育成制度を中心に全社業務改革に従事 ・上記に関する教育活動を研修コンテンツ化し社内外で展開中
(11)	内容	第1日目	1：要件定義の必要性 2：要件定義の基本手順 3：効果的な進め方 4：手順詳細1：目的の共有 5：手順詳細2：要求獲得
		第2日目	6：手順詳細3：現状調査 7：手順詳細4：要求リスト作成 8：手順詳細5：モデリング 9：手順詳細6：要求確定 10：まとめ：リスク対策他
(12)	その他(使用機材等)	ホワイトボード(1台/グループ) 付箋(100枚/グループ)	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	A002	
(2)	コース名称	システム運用品質向上のための運用業務改善入門	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p>1：はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善とは</li> <li>・科学的アプローチとは</li> </ul> <p>2：改善活動の基本である以下を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・QCストーリー</li> <li>・QC7つ道具/新7つ道具</li> </ul> <p>3：QC活動のITサービス現場への適用イメージを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの仕事におけるQC活動を考える</li> <li>・実践の仕方を考える</li> <li>・改善活動に着手するためのアクションプランを作成する</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム保守運用の業務経験3年以上の方</li> <li>・改善活動の進め方(QCストーリー)やそこで使う主要ツール(QC7つ道具)を学びたい方。または、これらを実務に適用したいシステム運用担当の方</li> </ul>	
(6)	日程	平成30年11月7日(水)、11月21日(水)	2日間
(7)	時間	10:00~17:30	13時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名(最小催行人員8名)	
(10)	講師	氏名	寺池 光弘
		所属	株式会社CACエクシケア 人事部 教育実施責任者
		略歴	<p>名古屋大学卒、英国レスター大学 MBA、情報処理技術者試験委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社シーエーシーにて、金融系・食品系・製薬系のシステム開発/戦略系コンサルティングおよび運用サービスの改善活動を経験後、グループ会社のCACマルハニチロシステムズの教育責任者として評価制度・育成制度を中心に全社業務改革に従事</li> <li>・上記に関する教育活動を研修コンテンツ化し社内外で展開中</li> </ul>
(11)	内容	第1日目	<p>(1) 運用サービスとは？</p> <p>(2) QC活動とは？</p> <p>(3) QCストーリー(前半)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ選定、現状把握、目標設定</li> <li>・要因の解析、課題の明確化</li> </ul> <p>(4) 上記の演習</p> <p>(5) 職場実践課題の解説</p>
		第2日目	<p>(1) 職場実践課題の発表&amp;フィードバック</p> <p>(2) QCストーリー(後半)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要因の解析、対策の立案、最適策の追求、方策の立案</li> <li>・効果の確認、歯止め、反省と今後の計画</li> </ul> <p>(3) 上記の演習</p> <p>(4) まとめ&amp;振り返り</p>
(12)	その他(使用機材等)	ホワイトボード(1台/グループ) 付箋(100枚/グループ)	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	A003	
(2)	コース名称	業務知識の基礎と改革のポイント【会計編】	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	会計業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して理解したうえで、会計システムの概要と業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得することを目的としています。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計を理解したい方</li> <li>・会計業務のシステム企画・提案をされる方</li> </ul>	
(6)	日程	平成30年11月13日(火)～11月14日(水)	2日間
(7)	時間	10:00～17:30	13時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名(最少催行人員8名)	
(10)	講師	氏名	井上 実
		所属	M&I コンサルティング 代表
		経歴	日本NCR、GSK(現SCSK)、アークシンクタンク、SAP、グローバルナレッジネットワークなどを経て、2011年にM&I コンサルティング代表として独立。さまざまな経験を活かし、経営とITの架け橋となる人材育成とコンサルティングサービスを提供。
(11)	内容	第1日目	<p>1. 会計とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計の目的、会計の起源、財務会計と管理会計</li> </ul> <p>2. 財務会計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計の目的、日本の財務会計、財務諸表(確認クイズ)</li> <li>・財務会計業務プロセスとシステム化(一般会計、売掛金管理、買掛金管理、固定資産管理)(確認クイズ)</li> <li>・財務分析(収益性、成長性、安全性、効率性、生産性(企業あてクイズ))</li> </ul>
		第2日目	<p>3. 管理会計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理会計の目的、部門ごとの予実管理、製品ごとの予実管理</li> <li>・管理会計業務プロセスとシステム化</li> </ul> <p>4. 連結会計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結会計業務プロセスとシステム化</li> </ul> <p>5. 資金管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金管理業務プロセスとシステム化(確認クイズ)</li> </ul> <p>6. 会計業務プロセス改革のポイントとシステム化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計、管理会計、資金管理(事例問題)</li> </ul>
(12)	その他(使用機材等)	プロジェクター、ホワイトボード、模造紙(3枚/グループ)、マジック(2本/グループ)、掲示用マグネット4本、なお1グループは3～4名	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	A004	
(2)	コース名称	業務知識の基礎と改革のポイント【販売・購買・在庫編】	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	販売・購買・在庫業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して理解したうえで、各業務システムの概要と業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得することを目的としています。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売・購買・在庫業務全体を理解したい方を理解したい方</li> <li>・販売・購買・在庫業務のシステム企画・提案をされる方</li> </ul>	
(6)	日程	平成30年12月12日(水)～12月13日(木)	2日間
(7)	時間	10:00～17:30	13時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名(最少催行人員8名)	
(10)	講師	氏名	井上 実
		所属	M&Iコンサルティング 代表
		略歴	日本NCR、GSK(現SCSK)、アークシンクタンク、SAP、グローバルナレッジネットワークなどを経て、2011年にM&Iコンサルティング代表として独立。さまざまな経験を活かし、経営とITの架け橋となる人材育成とコンサルティングサービスを提供。
(11)	内容	第1日目	<p>1. 販売・購買・在庫業務の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売業務の概要、購買業務の概要、在庫業務の概要</li> </ul> <p>2. 販売業務の基礎とシステム化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売業務の流れ・販売計画の立案・営業活動・引き合い・見積</li> <li>・受注・出荷依頼・売上計上・販売管理システム</li> </ul> <p>(確認クイズ)</p> <p>3. 購買業務の基礎とシステム化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購買業務の流れ・購買依頼受付・購買承認・引き合い・見積依頼</li> <li>・発注・入荷通知受付・仕入計上・購買管理システム</li> </ul> <p>(確認クイズ)</p> <p>4. 在庫業務の基礎とシステム化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫業務の業務プロセス・入荷・出荷・棚卸・倉庫間移動</li> <li>・在庫問い合わせ対応・在庫管理システム</li> </ul> <p>(確認クイズ)</p>
		第2日目	<p>5. 販売業務プロセス改革のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SFAを活用したマーケティング・CRMを活用したマーケティング</li> <li>・インターネットを活用したマーケティング</li> </ul> <p>6. 購買業務プロセス改革のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫補充発注の自動化・購買の集中化・EDIの活用</li> </ul> <p>7. 在庫業務プロセス改革のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サプライチェーン全体での在庫の最適化・入出荷・棚卸の効率化</li> </ul> <p>8. 共通の業務プロセス改革のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新情報の提供</li> </ul> <p>(確認クイズ) (事例問題)</p>
(12)	その他(使用機材等)	プロジェクター、ホワイトボード、模造紙(2枚/グループ)、マジック(2本/グループ)、掲示用マグネット4本、なお1グループは3～4名。	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	A005	
(2)	コース名称	ITコンサルティング営業の基礎	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	営業活動の戦略的活動の本質と営業活動上の課題と対応策を体系的に学び、ITコンサルティング営業活動の考え方、活動の課題と対応策を、ケーススタディを通じて理解を深め、発想の転換法や営業活動の質的強化について習得する。ITコンサルティング的営業活動の課題と対応策の理解を深め、戦略的営業活動の実践を目指す。	
(5)	前提知識 または受講対象者	S Iビジネスを中心に、ソリューション営業活動をされているかた、リーダー・幹部社員の方、或いは、ITコンサルティング活動を目指している方	
(6)	日程	平成30年10月16日(火)～10月17日(水)	2日間
(7)	時間	10:00～17:30	13時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名(最少催行人員8名)	
(10)	講師	氏名： 荒木 勝利	
		所属： 株式会社富士通ラーニングメディア(認定講師) NPO ちば経営応援隊(ITコーディネータ・講師)	
		略歴： 富士通株式会社産業営業本部 営業に従事(33年) 富士通株式会社のソリューション推進事業本部向けにSE/営業担当者の研修コースを複数担当(12年) CHISA・社会人向け SEソリューション営業研修(1～2回/年) ITコーディネータ(ケース研修インストラクター)	
(11)	内容	第1日目	<p>■ICTビジネス環境の変遷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT市場の動向</li> <li>・SIer業界の市場動向と将来</li> <li>・今起きていること、これから起きること</li> </ul> <p>■企業の目的は何か！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の永久的な発展</li> <li>・受注・売上・利益の拡大</li> </ul> <p>■営業活動は誰がやるのか！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは・・・特定の人</li> <li>・これからは・・・全社員</li> <li>何故、そうなのか！(グループワーキング)</li> </ul> <p>■コンサルティング営業って何！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客の潜在的・顕在的な課題を明らかにする</li> <li>・課題を整理し、解決策を導出する</li> <li>・解決のためのソリューションを提案する</li> </ul> <p>■営業戦略の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業戦略とはどう言うことか？</li> <li>・営業戦略の立案</li> </ul> <p>■営業活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的商談の獲得計画(商談単位)</li> <li>・営業活動のPDCA(商談推進の進捗管理)</li> </ul> <p>■コンサル営業のための必須条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の理解(経営内容・事業環境)</li> <li>・お客様の経営・事業課題の理解(問題点)</li> <li>・ニーズの本質を掴む</li> <li>・仮説提案をする</li> </ul> <p>■コンサルティングのための情報収集(グループワーク)</p> <p>ファミレス・誰に面談し、どんな情報をヒアリングするか！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>❖売上拡大に関する課題と対応策・情報</li> <li>❖利益改善に関する課題と対応策・情報</li> </ul>



(11)	内 容	第 2 日 目	<p>■ロジカルシンキングを活用した営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的別手法の活用</li> <li>・ 営業活動上の問題の整理・分析・NAM 手法</li> <li>・ 企業の内部環境・外部環境の整理・SWOT 手法／PEST 手法</li> <li>・ 内部・外部環境を踏まえた新たな戦略の策定・X-SWOT 手法</li> </ul> <p>■仮説提案のための情報整理（グループワーク）</p> <p>コンサル仮説提案のための業務改革・改善項目、ICT 対応 □ファミレスの課題体系図（ツリー構造体系）の作成</p> <p>■ICT・Sier 関連業界」の経営環境の整理（グループワーク）</p> <p>SWOT／PEST 手法を活用した分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・Sier 関連業界の（外部マクロ環境）の整理・分析 SWOT「機会」「脅威」、PEST「政治・政策、経済、社会・技術」</li> <li>・ ICT・Sier 関連業界の（外部ミクロ環境）の整理・分析 5Forse 手法「新規参入・競合関係・代替品・買い手・供給者」</li> </ul> <p>■SWOT 手法による事業戦略の策定（個人ワーク）</p> <p>自社の強み・弱み、外部環境を加味した「自社の新たな戦略」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自社の「強み」「弱み」は何かを纏める</li> <li>□「強み・弱み」、「機会・脅威」から新たな戦略の策定！</li> </ul> <p>■営業マインドアップの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□強い思考は現実化する・・・ナポレオン・ヒルの成功哲学</li> <li>□ある賢人の挫折と成功の軌跡・・・フランク・ベドガー</li> <li>□マインドの醸成は、感性を磨くことから！</li> </ul>
(12)	その他（使用機材等）		ホワイトボード／PC／プロジェクタ／ポストイット・マジック

情報通信人材研修

(1)	コース番号	A006	
(2)	コース名称	リーダー（幹部）のための営業戦略の立案と実践の考え方	
(3)	受講料	会員：25,000円、一般：35,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	営業活動の戦略的活動の本質と営業活動上の課題と対応策を体系的に学び、営業活動の戦略立案や活動の課題と対応策を、グループワーク等を通じて理解を深め、発想の転換法や営業活動の質的強化について理解する。営業活動の課題と対応策の理解を深め、戦略的営業活動の実践を目指す。	
(5)	前提知識 または受講対象者	S Iビジネスを中心に、ソリューション営業活動をされている方、リーダー・幹部社員の方、或いは、その必然性のある方。	
(6)	日 程	平成30年7月27日(金)	1日間
(7)	時 間	10:00~17:30	6.5時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定 員	20名（最少催行人員8名）	
(10)	講 師	氏名：荒木 勝利	
		所属：株式会社富士通ラーニングメディア（認定講師） NPO ちば経営応援隊（ITコーディネータ・講師）	
		略歴：富士通株式会社産業営業本部 営業に従事（33年） 富士通株式会社のソリューション推進事業本部向けに SE/営業担当者の研修コースを複数担当（12年） CHISA・社会人向け SEソリューション営業研修（1~2回/年） ITコーディネータ（ケース研修インストラクター）	
(11)	内 容	第1日目	<p>□ ICTビジネス環境の変遷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTビジネス環境の変化</li> </ul> <p>□ 営業活動は誰がやるのか！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業活動とは何か</li> <li>・ 全員が営業活動する必然性！（グループワーク）</li> <li>・ お客様起点でのアプローチの本質</li> <li>・ ニーズ・課題の本質を捉えるためには！</li> </ul> <p>□ 営業戦略立案の意義と考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実績の総括と新たな戦略立案</li> <li>・ マーケティング</li> </ul> <p>□ 付加価値提案・差別化アプローチの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お客様がベンダーを選択する視点</li> <li>・ 付加価値提案・差別化アプローチのためには！</li> </ul> <p>□ 戦略的営業活動のマネジメントプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦略的営業活動とロジカルシンキングの活用</li> <li>・ 効果的な営業活動のフォーメーション</li> </ul> <p>□ ロジカルシンキングを営業活動・管理に活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロジカルシンキング手法を活かした効率的な活動</li> </ul> <p>□ ICT/S i e rを取り巻く環境の整理・分析（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SWOT手法を活用した「機会・脅威」の整理</li> <li>・ 5Forse手法を活用した競合対策</li> </ul> <p>□ 営業活動と営業マインド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダー（幹部・上司）と言う仕事</li> <li>・ 信頼される上司とは！</li> <li>・ 営業マインドとは人間力！</li> </ul>
(12)	その他（使用機材等）	ホワイトボード／PC／プロジェクタ／ポストイット・マジック	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	A007	
(2)	コース名称	SEのためのソリューション営業活動の実践	
(3)	受講料	会員：25,000円、一般：35,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業活動の本質と営業活動上の課題と対応策、ソリューション営業活動についてグループワーキングを通じて知識を深め、発想の転換法やロジカルシンキングを実践的活用をすることを理解する。</li> <li>・営業活動の課題と対応策の理解を深め、発想の転換法やロジカルシンキングを実践的活用結びつけた営業活動を目指す。</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	SIソリューションビジネスに従事、営業活動の必要性がある方。 顧客に常駐してSEの仕事に従事、並行して営業活動をする立場にある方。	
(6)	日程	平成30年7月12日(木)	1日間
(7)	時間	10:00~17:30	6.5時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名(最少催行人員8名)	
(10)	講師	氏名：荒木 勝利	
		所属：株式会社富士通ラーニングメディア(認定講師) NPO ちば経営応援隊(ITコーディネータ・ケース研修講師)	
		略歴：富士通株式会社産業営業本部 営業に従事(33年) 富士通株式会社のソリューション推進事業本部向けに SE/営業担当者の研修コースを複数担当(12年) CHISA・社会人向け SEソリューション営業研修(1~2回/年) ITコーディネータ(ケース研修インストラクター)	
(11)	内容	第1日目	<p><b>□ICTビジネス環境の変遷</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの大きな環境変化</li> <li>・ICTビジネス環境の変化</li> </ul> <p><b>□営業活動は誰がやるのか!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業活動とは何か</li> <li>・全員で営業活動する必然性!(グループワーク)</li> <li>・お客様起点でのアプローチの本質</li> <li>・ニーズ・課題の本質を捉えるためには!</li> </ul> <p><b>□付加価値提案・差別化アプローチの実践</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様がベンダーを選択する視点</li> <li>・お客様のベンダー提案に対する評価の観点</li> <li>・付加価値提案・差別化アプローチのためには!</li> </ul> <p><b>□営業活動とファシリテーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実効あるリレーション構築</li> <li>・ファシリテーションの目的</li> <li>・ファシリテーションを上手く実践するには!</li> <li>・相手の深層心理を理解した会話が大事</li> </ul> <p><b>□ロジカルシンキングを営業活動に活かす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジカルシンキング手法を活かした効率的な活動</li> </ul> <p><b>□IT・Sier 業界の環境を整理・分析(グループワーク)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SWOT手法を活用した業界の「機会・脅威」の分析</li> <li>・SWOT手法を活用した自社の「強み・弱み」の分析</li> </ul> <p><b>□営業活動と営業マインド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業マインドとは!</li> <li>・人間力が大きな影響力を持つ!</li> </ul>
(12)	その他(使用機材等)	ホワイトボード/PC/プロジェクタ/ポストイト・マジック	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	H001	
(2)	コース名称	ドキュメント品質向上 SEのための向けロジカルシンキング入門	
(3)	受講料	会員：25,000円、一般：35,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を漠然と捉えるのではなく、論理的に考え、説明する（話す/書く）ことができるようになる。</li> <li>・これらの考え方と手法を活用し、納得性・説得性のあるドキュメントを作成できるようになる。</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発または保守運用の業務経験3年以上の方</li> <li>・論理的思考法を知らない。または、論理的思考法を実務（コミュニケーション、ドキュメンテーション）に適用できていない担当の方</li> </ul>	
(6)	日程	平成30年7月25日(水)	1日間
(7)	時間	10:00~17:30	6.5時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名（最小催行人員8名）	
(10)	講師	氏名	寺池 光弘
		所属	株式会社CACエクシケア 人事部 教育実施責任者
		略歴	<p>名古屋大学卒、英国レスター大学 MBA、情報処理技術者試験委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社シーエーシーにて、金融系・食品系・製薬系のシステム開発/戦略系コンサルティングおよび運用サービスの改善活動を経験後、グループ会社のシーエーシーエクシケアの教育責任者として人材育成を中心に全社業務改革に従事</li> <li>・上記に関する教育活動を研修コンテンツ化し社内外で展開中</li> </ul>
(11)	内容	第1日目	<p>1：はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考方法を理解する</li> </ul> <p>2：論理の組み立て方を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MECE/フレームワーク</li> <li>・So What?/Why So?</li> <li>・ロジックツリー</li> </ul> <p>3：コミュニケーションへの応用</p> <p>4：まとめ・振り返り</p>
(12)	その他（使用機材等）	ホワイトボード（1台/グループ） 付箋（100枚/グループ）	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	H002	
(2)	コース名称	改善・提案型 SE のためのロジカルライティング入門	
(3)	受講料	会員：25,000 円、一般：35,000 円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「文章構成」の基本手法を理解し、演習を通して習得する</li> <li>・ 「文章表現」の基本手法を理解し、演習を通して習得する</li> <li>・ 文書を受け取る相手が、「伝わりやすい」文書を効率よく書けるようになる。</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム開発または保守運用の業務経験 3 年以上の方</li> <li>・ ライティング手法を学びたい方。または、ライティング手法を実務（提案書、報告書など）に適用したい方</li> </ul>	
(6)	日 程	平成 30 年 10 月 24 日(水)	1 日間
(7)	時 間	10：00～17：30	6.5 時間
(8)	会 場	船橋情報ビジネス専門学校 3 号館	
(9)	定 員	20 名（最小催行人員 6 名）	
(10)	講 師	氏 名	寺池 光弘
		所 属	株式会社 CAC エクシケア 人事部 教育実施責任者
		略 歴	<p>名古屋大学卒、英国レスター大学 MBA、情報処理技術者試験委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式会社シーエーシーにて、金融系・食品系・製薬系のシステム開発／戦略系コンサルティングおよび運用サービスの改善活動を経験後、グループ会社の CAC マルハニチロシステムズの教育責任者として評価制度・育成制度を中心に全社業務改革に従事</li> <li>・ 上記に関する教育活動を研修コンテンツ化し社内外で展開中</li> </ul>
(11)	内 容	第 1 日目	<p>1：はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT サービスの現場におけるビジネスライティングの必要性</li> </ul> <p>2：文章の読み手・目的を明確にする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み手の分析（プロフィール分析）</li> <li>・ 関心事の分析（イシュー分析）</li> <li>・ ゴール分析</li> </ul> <p>3：読み手に合わせた文章構成・ロジックの組み立て方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結論ありきのロジックで書く（ピラミッドストラクチャー）</li> <li>・ 事実をわかりやすく展開する（So What?/Why So?・MECE・フレームワーク）</li> </ul> <p>4：説得力のある文章表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可読性</li> <li>・ 正確性</li> </ul> <p>5：まとめ・振り返り</p>
(12)	その他（使用機材等）	ホワイトボード（1台/グループ）付箋（100枚/グループ）	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	H003	
(2)	コース名称	聴き手の心を動かす技術 （“プレゼンテーション”～ジョブズに学びながら～）	
(3)	受講料	会員：25,000円、一般：35,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p>“プレゼンテーション”の目的は「聴き手の心を動かすこと」です。スライドを使つての語りも、スピーチも、上司や部下、別部署との打ち合わせも、発表も、会議での発言も、全てプレゼンです。</p> <p>どうすれば効果的に印象的に考えや思い、コンセプトを聴き手に伝え、聴き手の心を動かせるのか、聴き手の行動を促せるのか。世界一のコミュニケーターと評されたジョブズや歴史に残る偉人を題材にしなが、プレゼン、そして日本語表現や発声・滑舌も学びます。この技術は受講者本人の“プレゼンス”を高めます。</p>	
(5)	前提知識 または受講対象者	コミュニケーションが求められる全ての方々が対象です。打ち合わせ、商談、発表、多くの聴き手を前にした語り。社会においてもビジネスにおいても、こういった場は必ずあります。「聴き手が信頼感を持つ人間になりたい」と思う方は全て対象です。	
(6)	日程	平成30年9月14日（金）	1日間
(7)	時間	10：00～17：30	6.5時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名（最小催行人員8名）	
(10)	講師	氏名	永井 一美
		所属	オレンジコミュニケーション・サポート 代表
		略歴	IT業界に長く従事。日本がアメリカに負けないマシンをと開発していたDIPSプロジェクトでOSの開発。その後、システムインテグレーションでのリーダー、事業責任者を経て、製品開発事業を目的として転職。新規に開発した製品は国産トップシェアとなり、代表に就任。MIJS理事、日本IT特許組合理事長を歴任。2011年に代表を退任し、経験を活かしたプレゼンテーション研修を含め教育事業を行っている。また、2014年より日本ネクサウェブ株式会社COOとして研修事業を継続しながら現場にも復帰。
(11)	内容	第1日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレゼンテーションとは</li> <li>2. アリストテレスの教え</li> <li>3. 21のポイント</li> <li>4. 日本語表現</li> <li>5. 発声と滑舌</li> <li>6. レトリック</li> </ol>
(12)	その他（使用機材等）	プロジェクター、ホワイトボード	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	H004	
(2)	コース名称	コンサル型ファシリテーション	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<p>情報マネジメントの概念、必要性、対応策、運用などについて課題解決を図るために社内外で各種の会議が開催されるが、段取りの悪さ、および参加者の思惑齟齬や感情的な意見によって、迷走する会議が多い。そのための社内の生産性向上および顧客の信頼を勝ち得るために、コミュニケーション力を鍛え、日々活用できるファシリテータを育成する。具体的には下記を目標とする。</p> <p>① 「ファシリテーション」を理解する。                  ② 自社および客先での会議にて、リーダーシップが取れるようになる。                  ③ 会議にて課題解決を図るための手法を会得する。</p>	
(5)	前提知識 または受講対象者	社内外会議に参加するIT企業すべての方 (ただし、新人の方を除く)	
(6)	日程	平成30年12月3日(月)～12月4日(火)	2日間
(7)	時間	10:00～17:30	13時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名(最小催行人員8名)	
(10)	講師	氏名/所属：野村 真実 (一般社団法人千葉IT経営センター)	
		氏名/所属：堀 明人 (一般社団法人千葉IT経営センター)	
		<p>【野村 真実】 鹿児島大学卒業後、日本ユニバック(現・日本ユニシス)入社。SE、PMを経て、ITコーディネータビジネス事業開始。現在は独立し、経営参謀業。ITコーディネータ。</p> <p>【堀 明人】 明治大学卒業。通信業界で情報システム、マーケティング、法人営業企画を経験し、その後、設立して独立。現在、戦略具現化プロフェッショナルとして、IT業界を中心に複数の企業を支援中。ITコーディネータ。</p>	
(11)	内容	第1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講義「コンサル型ファシリテーションとは？」</li> <li>● グループ演習「ITを使ったファシリテーション方法」、「6色ハットでアイデア整理」、「議論の成否」</li> <li>● 講義「効果的なファシリテーションツール」</li> <li>● グループ演習「どんな会議が望ましい?」、「結果の出る会議」</li> </ul>
		第2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講義「コミュニケーション力の高度化」</li> <li>● グループ演習「模擬会議」、「課題とは何か?」、「課題抽出と課題解決」</li> <li>● ファシリテータ宣言</li> </ul>
(12)	その他(使用機材等)	PC使用(グループ2台) モニター(グループ1台)	

情報通信人材研修

(1)	コース番号	H005	
(2)	コース名称	管理者・マネージャー、リーダーのためのストレスマネジメント (セルフ・ライン)	
(3)	受講料	会員：40,000円、一般：60,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	業務管理者、プロジェクトリーダー、マネージャー、プレイングマネージャーなど、マルチタスクで仕事をこなさないといけない人を対象に、コーチングの基礎を織り交ぜて、自分の状態を整えつつ、メンバとの円滑なコミュニケーションで、プロジェクト全体の活性化の視点を修得します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	業務担当管理者の方、 プロジェクトマネージャーおよびプロジェクトリーダーの方	
(6)	日程	平成30年9月7日(金)～9月8日(土)	(2日間)
(7)	時間	10:00～17:00	(12時間)
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名	
(10)	講師	氏名：柏木 智子	
		略歴：IT企業の人事部に17年勤務。 2007年に社内のメンタルヘルス体制構築の重要性を実感し、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント資格を取得。 メンタルヘルス専任担当として、ゼロから、休職者復帰プログラムの作成、社内相談窓口確立、メンタルヘルス研修、退職防止面談等の施策を立案・実施。 2017年12月末に、同会社を退職し、現在メンタルヘルスコンサルタント、カウンセラー、コーチ、研修講師として活動中。	
(11)	内容	第1日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>メンタルヘルスの現状 世の中の流れと業界の状況</li> <li>基本的なメンタルヘルスケア 4つのケアを知り、活用する</li> <li>ストレスの要因・対処 ストレスの要因を整理し、対処方法を学ぶ</li> <li>マネージャー自らのセルフケア 簡単にできるリセット法の実践</li> <li>考え方の癖の理解 自らの考え方の癖を知り、偏りを修正する</li> </ol>
		第2日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>ラインケアとは？ メンバのメンタル不調の早期発見・早期対応</li> <li>メンタル不調による休業・職場復帰 休業から復帰への流れ</li> <li>職場環境の問題の把握と改善 問題点の洗い出しと、具体的な取組み</li> <li>メンバとのコミュニケーション 傾聴による円滑なコミュニケーション</li> </ol>
(12)	その他（使用機材等）	プロジェクター	



情報通信人材研修

(1)	コース番号	H006	
(2)	コース名称	ITエンジニアのためのストレスセルフマネジメントの基礎	
(3)	受講料	会員：25,000円、一般：35,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	納期に対するプレッシャー、お客様や上司・同僚とのコミュニケーション不足による進捗遅延など、自分のストレスの要因を知り、気持ちの余裕がない時でも、上手にストレスをコントロールする方法を修得します。集中と緩和のバランスを計り、ストレス耐性を強化します。	
(5)	前提知識 または受講対象者	IT業務に携わっている方（業務経験は問わず）	
(6)	日程	平成30年7月11日(水)	(1日間)
(7)	時間	10:00~17:00	(6時間)
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名	
(10)	講師	氏名：柏木 智子	
		<p>略歴：IT企業の人事部に17年勤務。</p> <p>2007年に社内のメンタルヘルス体制構築の重要性を実感し、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント資格を取得。メンタルヘルス専任担当として、ゼロから、退職者復帰プログラムの作成、社内相談窓口確立、メンタルヘルス研修、退職防止面談等の施策を立案・実施。</p> <p>2017年12月末に、同会社を退職し、現在メンタルヘルスコンサルタント、カウンセラー、コーチ、研修講師として活動中。</p>	
(11)	内容	第1日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メンタルヘルスの現状 世の中の流れ、制度等</li> <li>2. ストレス要因とストレス反応 自分にとっての要因や反応の洗い出し</li> <li>3. ストレスへの対処 オン・オフの切り替えや洗い出したストレスへの対処法</li> <li>4. 考え方の癖と物の見方 自分の傾向を知り、対処法を学ぶ</li> <li>5. 円滑なコミュニケーション お客様や上司・同僚との関係を円滑に築く</li> </ol>
(12)	その他（使用機材等）	プロジェクター	